

(案)

令和4年度

はちのへ大型公共施設見える化シート

(令和3年度決算分)

令和5年〇月

八戸市行政管理課

# 目 次

1. 作成目的	.....	1
2. 対象施設	.....	1
3. 見える化シートの項目	.....	2
4. 各施設の見える化シート		
①八戸市庁	.....	4
②八戸ブックセンター	.....	6
③八戸市美術館	.....	10
④八戸ポータルミュージアム(はっち)	.....	14
⑤八戸まちなか広場(マチニワ)	.....	18
⑥八戸長根屋内スケート場	.....	20
⑦八戸市総合保健センター	.....	24
⑧八戸埋蔵文化財センター是川縄文館	.....	26
⑨八戸市立図書館	.....	32
⑩八戸市博物館	.....	36
<b>【参考】令和3年度施設運営費の状況のまとめ</b>	.....	39

## 1. 作成目的

当市では、人口減少の進行等を背景とした公共施設の利用に関する市民ニーズの変化に対応するとともに、長期的な視点による計画的な施設更新や老朽化対策、財政負担の軽減・平準化と施設の最適な配置を図るための基本方針として、「八戸市公共施設マネジメントの推進に係る基本方針」を策定し、当方針に基づき、公共施設等の適切な管理を推進しています。

また、その推進に当たっては、市民の理解が不可欠であるため、主要な大型公共施設に係る維持管理コスト等の情報について、分かりやすい形で「見える化」することとしています。

「見える化」の取組は、各施設への市民の理解をより深めていただく観点から、施設ごとに有する特性を含め様々な角度からの情報をわかりやすく伝えることで、市の公共施設マネジメントに係る市民の理解を得ることに加え、各施設における便益とコストのバランス等への関心を高めるとともに、市職員の公共施設に対するコスト意識の向上につながることを期待されます。

このようなことから、主要な大型公共施設について、施設の基本的な情報や管理運営に要した費用、利用状況などに加え、地域の活性化等に向けた各施設の取組状況など、施設ごとの特性を総合的に把握するための資料として、新たに「はちのへ大型公共施設見える化シート」(以下「見える化シート」という。)を作成し、今後の施設の有効利用につなげていくこととしています。

## 2. 対象施設

見える化シートの対象施設については、原則として、市の直営施設であり相当数の利用者に利用されている公共施設から、次の10施設を選定しました。

- ①八戸市庁、②八戸ブックセンター、③八戸市美術館、④八戸ポータルミュージアム(はっち)、
- ⑤八戸まちなか広場(マチニワ)、⑥八戸長根屋内スケート場、⑦八戸市総合保健センター、
- ⑧八戸埋蔵文化財センター是川縄文館、⑨八戸市立図書館、⑩八戸市博物館

※指定管理者制度を導入している施設については、管理状況を検証するモニタリング結果として、毎年度、収支状況や利用状況を公表していることから対象外としています。

### 3. 見える化シートの項目

見える化シートは、施設ごとに固定資産台帳の情報を基本として、以下の項目により作成しています。なお、掲載されていない各施設の詳しい内容については、所管課へお問い合わせください。

#### (1) 基本情報

項目	記載内容
施設名称	施設の名称を示しています。
所在地	施設の所在地を示しています。
所管部署	所管課を示しています。
設置の目的	施設の設置目的を示しています。
財産区分	施設の財産区分を示しています。(例:普通財産、行政財産など)
施設の写真	外観等、施設を象徴するアングルでの写真を示しています。

#### (2) 管理・運営の概要

項目	記載内容	
土地	土地面積	施設全体の土地の面積を示しています。
	所有状況	土地の所有状況を示しています。(例:国有地、県有地、市有地、私有地など)
	用途地域	都市計画法における用途地域等を示しています。
建物	下記の項目を示しています。 <項目>建物名称、建築年月日、延床面積、構造、階数、整備費用(解体費用及び用地取得費用を除き、基本設計及び詳細設計費用は含みます。)、財産区分、耐震診断(診断結果)	
運営	開館時間	開館時間を示しています。
	休館日	休館日を示しています。
	開館日数	各年度の年間開館日数を示しています。
	運営形態	運営形態を示しています。
利用	主な利用・来館者	施設の主な利用者・来館者を示しています。 (例:市民(全市的)、市民(地域住民)、観光客、職員、その他)
	延利用・来館者数	各年度の施設の年間延利用者数を示しています。
	1日当たり利用・来館者数	(利用・来館者数)÷(開館日数)で示しています。
駐車場	駐車場の有無、利用時間等を示しています。	
職員数	施設に常駐する職員数を示しています。 ・正職員 ・会計年度任用職員	
バリアフリーの状況	車いす駐車場、出入り口のスロープ、障害者用エレベーター、オストメイト対応トイレの設置状況を示しています。	
自家発電設備等	自家発電設備の整備状況、再生可能エネルギー設備がある場合はその種類を示しています。	
災害避難指定	施設が指定緊急避難場所、指定避難所に指定されているかを示しています。 なお指定緊急避難場所に指定されている場合は、災害の種類を示しています。	

### (3)施設運営費の状況

項目		記載内容
支出	人に係る経費	報酬、給与、各種手当、共済費等に係る費用を示しています。
	企画運営経費	展示会・イベント開催等の企画事業、自主事業に係る費用を示しています。
	地元発注率	市内に本店・営業所等がある事業者へ発注している割合を示しています。
	施設の維持管理費	施設の維持管理経費(光熱水費、委託料等)と施設運営に要する一般管理経費に係る費用を示しています。
	地元発注率	市内に本店・営業所等がある事業者へ発注している割合を示しています。 (光熱水費を除く)
合計	上記費用の合計を示しています。	
収入(財源)	使用料	施設使用に係る収入を示しています。 (例:施設使用料・貸館等使用料・入場料等)
	その他	施設使用料以外の収入がある場合は示しています。 (例:施設の貸付により得られる収入、運営経費等に係る国庫補助金、広告料による収入など)
	一般財源	市税や地方交付税などのように、使い道が特定されておらず、どのような経費にも使用できる財源を示しています。
	合計	上記収入の合計を示しています。
施設運営費の特徴		施設運営費における各施設の特徴を説明しています。

※経常的な施設運営費を把握するため、金額が300万円以上の大規模改修に係る経費は除いています。

※庁舎及び保健センターについては、様々な業務を行う総合的な行政機関であり、目的や利用状況が他施設とは異なるため、施設の維持管理費のみ示しています。

### (4)取組の状況

項目	記載内容
設置条例	施設の設置根拠となる条例を示しています。
運営方針等	施設の運営方針等を示しています。
取組の内容	施設ごとに設置目的、施設の活用、企画内容は異なっており、一律の指標で運営状況を捉えることは困難であることから、施設独自の指標や観点をを用いて取組の状況を記載しています。 また、維持管理費と財源の見通しとして、維持管理費の削減や収入の増加に向けた取組内容を記載しています。


## **【参考】令和3年度施設運営費の状況のまとめ**

施設運営に要した費用を項目ごとに施設間で比較した上で、それぞれの項目において特徴のある施設について説明したものです。

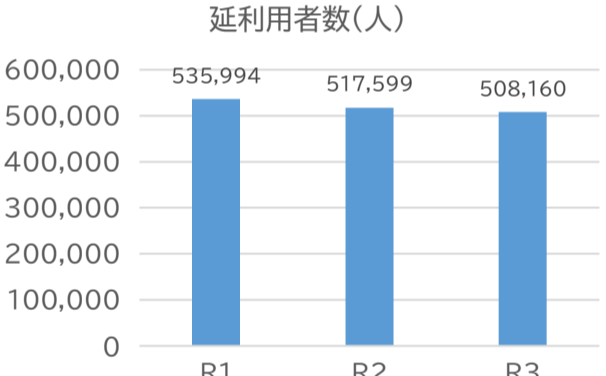
# 見える化シート

基準日 令和4年3月31日現在

## 基本情報

施設名称	八戸市庁	
所在地	内丸一丁目1番1号	
所管部署	行政管理課	
設置の目的	全市民に対する総合的な行政サービスを提供するための拠点として設置するもの。	

## 管理・運営の概要

土地	土地面積	21,830.00	m <sup>2</sup>	所有状況	市有地									
	用途地域	第二種低層住居専用地域												
建物	建物名称	八戸市庁												
	建築年月日	昭和55年12月24日(本館)												
	延床面積	23,602.63(別館含む)	m <sup>2</sup>	構造(本館)	鉄筋コンクリート	階数	地上	5	地下	-				
	整備費用	4,689,153	千円	財産区分	行政財産									
	耐震診断	実施済			診断結果	対応不要								
運営	開館時間	8:15~17:00												
	休館日	毎週日、祝日、年末年始												
	開館日数(日)	R1	296	R2	315	R3	311							
	運営形態	直営												
利用	主な利用者	市民(全市的)			市民(地域住民)							職員		
	延利用者数(人)	R1	535,994	R2	517,599	R3	508,160							
	1日当たり利用者数(人)	R1	1,810	R2	1,643	R3	1,634							

駐車場の有無				職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	有	正職員	会計年度任用職員
利用時間	7:00~22:00	原付・バイク	有		
入出庫時間	7:00~22:00	自転車	有	1,352	247
バリアフリーの状況				自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ	自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	○	○	太陽光発電
災害指定避難					
指定緊急避難場所					蔵書数(冊)
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山	
-	-	-	-	-	-

施設運営費の状況		(単位:千円)					
		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			地元 発注率		地元 発注率		地元 発注率
支出	人に係る経費	-	/	-	/	-	/
	企画運営費	-	-	-	-	-	-
	施設の維持管理費	329,038	98%	323,188	99%	339,210	94%
	うち、光熱水費	82,882	/	75,245	/	77,922	/
	うち、委託料	147,951	97%	151,288	98%	150,734	96%
	合計	329,038	/	323,188	/	339,210	/
収入 (財源)	使用料	5,803		5,765		5,049	
	その他	12,891		8,499		7,517	
	一般財源	310,344		308,924		326,644	
	合計	329,038		323,188		339,210	
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和3年度)			
<p>1.施設の維持管理費(光熱水費・委託料) 来庁者及び勤務職員が多いため施設運営に当たり電気、都市ガス及び水道使用に係る経費が多くなっている。 また、延床面積が広いため清掃、警備に係る経費が多くなるほか、電話交換、受付案内及びその他保守点検等委託にも一定の経費を要している。</p> <p>2.施設の維持管理費(その他) 来庁者の駐車料金の減免に係る経費や電話等の使用に係る経費、その他庁舎の運営に係る経費等、多岐にわたって一定の経費を要している。</p> <p>3.その他 その他収入の主なものは建物貸付収入や広告料収入。</p>							

取組の状況																									
設置条例	-																								
運営方針等	① 事務及び事業が迅速かつ的確に遂行されるよう、庁舎の秩序維持と適切な維持管理を行う。 ② 庁舎周辺及び市民広場について、市民の憩いの場としての美観の維持と環境保全に努める。																								
取組の内容	<p>1.維持管理費と財源の見通しについて</p> <p>○過去3年度における施設運営費の平均 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支出</th> <th>施設の維持管理費</th> <th>330,479</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>    うち、光熱水費</td> <td>78,683</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    うち、委託料</td> <td>149,991</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>330,479</td> <td></td> </tr> <tr> <th>収入 (財源)</th> <th>使用料</th> <th>5,539</th> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td>9,636</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    一般財源</td> <td>315,304</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>330,479</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)維持管理費について</p> <p>①施設維持管理の状況 平成30年3月に策定した庁舎の個別施設計画に基づき、八戸市庁舎の建築物が性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるよう維持管理していく。 また、施設の保全にあたっては、施設の使用目的や規模に応じて、安全の確保、業務継続の可否、管理運営の効率化、施設の長寿命化、ユニバーサルデザイン化並びに省エネルギー化などの社会的要求水準の確保に努めていく。</p> <p>②維持管理費削減の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話交換設備への自動応答設備導入による人件費の削減(R2)</li> <li>・空調設備運用方法見直しによるエネルギーコストの削減(R2)</li> <li>・照明設備のLED化に伴うエネルギーコストの削減(H29~R4)</li> <li>・保守点検業務の委託内容の見直しによる保守点検コストの削減(H30~R3)</li> </ul> <p>(2)財源の見通しについて 施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として建物貸付収入や広告料収入を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。</p>	支出	施設の維持管理費	330,479	うち、光熱水費	78,683		うち、委託料	149,991		合計	330,479		収入 (財源)	使用料	5,539	その他	9,636		一般財源	315,304		合計	330,479	
支出	施設の維持管理費	330,479																							
うち、光熱水費	78,683																								
うち、委託料	149,991																								
合計	330,479																								
収入 (財源)	使用料	5,539																							
その他	9,636																								
一般財源	315,304																								
合計	330,479																								

# 見える化シート

基準日 令和4年3月31日現在

基本情報	
施設名称	八戸ブックセンター
所在地	八戸市大字六日町16番地2 ガーデンテラス1階
所管部署	文化創造推進課
設置の目的	本と出会う新たな機会を創出することにより市民の豊かな心を育み、文化の薫り高いまちを目指すとともに、中心市街地の活性化に寄与するため、本を通じた市民交流及びまちづくりの拠点として設置するもの。



管理・運営の概要																		
土地	土地面積	315.00		m <sup>2</sup>	所有状況	私有地												
	用途地域	-																
建物	建物名称	八戸ブックセンター																
	建築年月日	平成29年12月4日																
	延床面積	315.00		m <sup>2</sup>	構造	鉄骨造	階数	地上	4	地下	-							
	整備費用	120,876		千円	財産区分	行政財産												
	耐震診断	不要			診断結果	-												
運営	開館時間	10:00~20:00 日曜・祝日は19:00まで																
	休館日	毎週火曜及び年末年始(12/29~1/1)																
	開館日数(日)	R1	309	R2	298	R3	260	<p>延利用者数(人)</p> <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Users</th></tr> <tr><td>R1</td><td>109,560</td></tr> <tr><td>R2</td><td>69,055</td></tr> <tr><td>R3</td><td>59,911</td></tr> </table>			Year	Users	R1	109,560	R2	69,055	R3	59,911
	Year	Users																
R1	109,560																	
R2	69,055																	
R3	59,911																	
運営形態	直営																	
利用	主な利用者	市民(全市的)																
	延利用者数(人)	R1	109,560	R2	69,055	R3	59,911											
	1日当たり利用者数(人)	R1	355	R2	232	R3	230											

※利用者数及び開館日数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	無	自動車	-		正職員	会計年度任用職員
利用時間	-	原付・バイク	-			
入出庫時間	-	自転車	-		3	4
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
-	○	○	○		-	-
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
-	-	-	-	-	-	-



施設運営費の状況 (単位:千円)

		令和元年度	地元 発注率	令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率
支出	人に係る経費	36,490		39,174		42,402	
	企画運営費	36,390	78%	29,904	79%	15,274	85%
	施設の維持管理費	22,007	99%	20,882	99%	35,193	99%
	うち、光熱水費	976		863		1,038	
	うち、委託料	2,610	100%	2,545	100%	2,759	100%
	合計	94,887		89,962		92,869	
収入 (財源)	使用料	491		319		277	
	その他	18,267		15,375		26,170	
	一般財源	76,129		74,268		66,422	
	合計	94,887		89,962		92,869	

施設運営費の特徴	支出経費の構成割合(令和3年度)
<p>1. 人に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館時間が長く休館日が少ない運営形態であるため割合が高くなる。</li> <li>・施設管理以外に、販売書籍の選書、企画事業の立案・実施を行っている。</li> <li>※施設運営に必要な職員配置時間数(休憩時間含む):約285時間/月(本庁:約176時間/月)</li> </ul> <p>2. 企画運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針に基づいた企画事業を実施するための経費(ゲスト謝礼、企画事業委託料等)。</li> <li>・書籍の仕入に係る委託料(約8,400千円)は棚卸資産となり、書籍が売れたときに費用となる性質のもの。書籍を返品することで、仕入にかかった金額は全額市に返納される。</li> </ul> <p>3. 施設の維持管理費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テナントとして入居しているため、建物借上料(15,344千円)が発生する。</li> </ul> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他収入の主なものは、書籍等の売上収入、ブックセンター事業費寄付金。</li> </ul>	<p>支出経費の構成割合(令和3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人に係る経費 46%</li> <li>維持管理費(委託料) 3%</li> <li>維持管理費(光熱水費) 1%</li> <li>維持管理費(その他) 19%</li> <li>企画運営費 16%</li> </ul>

取組の状況

設置条例	八戸ブックセンター条例
運営方針等	八戸ブックセンター基本計画書
取組の内容	

**1. 施設の特徴**

八戸に「本好き」を増やし、八戸を「本のまち」にするための、新しい「本のある暮らしの拠点」というコンセプトに基づき、3つの基本方針を定め、それに則った施策を実行しています。

【基本方針】

(1)本を読む人を増やす  
本を「読む人」を増やすために、これまで出会う機会が少なかった本が身近にある環境をつくと同時に、それを手に取りたいくなるような工夫のある陳列や空間設計、読み始めるきっかけとなるようなイベントの開催などを行います。

(2)本を書く人を増やす  
本を「書く人」を増やすために、執筆専用のブースを備え、執筆や出版の相談窓口やワークショップの開催を行います。

(3)本でまちを盛り上げる  
本はひとりで読むものであると同時に、そこから得た知識や情報、感情や思考などを共有することで、より深く楽しむことができるものであることから、本で「まち」を盛り上げるために、本を介したコミュニケーションを生み出す様々な施策を行います。

2. 主な事業

(1)セレクトブックストアの推進

様々なジャンルの入口となる本を「セレクトして並べる」ことにより、これから出会う未読ジャンルへの選択肢を提案しており、本を買って手にとるといった体験に繋がっています。また、地方都市における、売れ筋を扱わざるを得ないという大都市との文化格差課題を解消することにも繋がっています。

(2)本のまち読書会の開催

様々なテーマを設定した「読書会」の開催や、作家・編集者・出版社などからゲストを招いたトークイベントなどを開催することにより、新たな本との出会いの創出、更に深く本を読むきっかけに繋がっています。

(3)アカデミックトークの実施

教育機関や文化施設などから講師を招き、本を軸にした、各分野からの専門的なトークイベントを開催することにより、本に対する興味を湧き立たせることに繋がっています。

(4)執筆出版ワークショップの開催

小説や自分史、電子書籍の作り方など、作家や専門家をゲストに招きながら執筆や出版に関するワークショップを開催することにより、「ものを書く楽しさ」、「発表し、観てもらおう体験」に繋がっています。

(5)ギャラリー展示の実施

特定の作家や作品に関する展示、本の印刷・造本・装丁など、本を切り口とした様々な展示を行うことにより、本を手に取り興味をふくらませるきっかけに繋がっています。

(6)パワープッシュ作家の紹介

トークイベントや展示などで八戸に関係する作家、作品を幅広く紹介することにより、「本のまち八戸」を盛り上げるきっかけに繋がっています。

(7)ブックサテライト増殖プロジェクトの実施

市内の飲食店、公共施設などに呼びかけ「ブックサテライト」として本箱を設置。それぞれの施設に合わせて選書した本を置くことにより、その場所にあった本棚がある「まち」を目指しています。

(8)本のまち八戸ブックフェスの開催

様々な団体と連携し、本に関する企画を実施することにより、本への興味喚起、中心街への来街動機に繋がっています。

(9)施設の活用(読書会ルーム)

市内読書団体などへの貸出のほか、様々な企画事業にも活用することにより、新たなコミュニティ形成、中心街への来街動機に繋がっています。

(10)施設の活用(カンヅメブース)

本などを執筆したい人向けに貸出、利用いただくことにより、実際に本が出版されるなど、「書く」ことへの動機に繋がっています。

(11)教育機関との連携

各教育機関と連携し、ブックセンター内に留まらず、各校に出向いたり、各種行事においてトークやワークショップ、その他の企画を実施することにより、若年層に向けた本への興味喚起、体験づくりに繋がっています。

3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均 (単位：千円)

支出	人に係る経費	39,356
	企画運営費	27,189
	施設の維持管理費	26,027
	うち、光熱水費	959
	うち、委託料	2,638
	合計	92,573
収入(財源)	使用料	362
	その他	19,937
	一般財源	72,273
	合計	92,573

(1)維持管理費について

- ・開館時間が長く休館日が少ない運営形態であり、施設管理以外にも陳列・販売書籍の選書、企画事業の立案・実施を行っているため、人に係る経費の割合は高くなる。
- ・民間書店との連携として書籍等の仕入販売返品業務を委託しており、その委託料が発生する。
- ・テナントとして入居しているため、建物借上料が発生する。

(2)財源の見通しについて

①収入の状況

市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入としてブックセンター事業費寄付金や書籍売上収入を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。

②収入増に向けた取組

新たな歳入確保策として、令和3～4年度にかけてクラウドファンディング事業を実施済み。今後も当該事業の実施を検討していく。

## 【参考】

## 1. 来館者数推移

	累計	月平均	1日平均
平成29年度	114,599人	9,550人	368人
平成30年度	125,983人	10,499人	406人
令和元年度	109,560人	9,130人	355人
令和2年度	69,055人	5,755人	232人
令和3年度	59,911人	5,991人	230人

## 2. 販売冊数推移

	累計	月平均	1日平均
平成29年度	7,143冊	595冊	23冊
平成30年度	8,333冊	694冊	27冊
令和元年度	8,948冊	746冊	29冊
令和2年度	6,575冊	548冊	22冊
令和3年度	6,068冊	607冊	23冊

## 3. 販売金額推移(書籍のみ)

	累計	月平均	1日平均
平成29年度	10,516,785円	876,399円	33,816円
平成30年度	12,620,094円	1,051,675円	40,710円
令和元年度	13,489,446円	1,124,120円	43,655円
令和2年度	10,694,146円	891,179円	35,886円
令和3年度	9,672,553円	967,255円	37,202円

## 4. 施設の活用推移(読書会ルーム、カンヅメブース)

	読書会ルーム				カンヅメブース			
	貸館		自主事業		市民作家登録者		カンヅメブース利用件数	
	計	月平均	計	月平均	登録者数	(累計)	計	月平均
平成29年度	50件	4.2件	78件	6.5件	66名	143名	174件	14.5件
平成30年度	57件	4.8件	69件	5.8件	51名	194名	153件	12.8件
令和元年度	73件	6.1件	42件	3.5件	41名	235名	204件	17.0件
令和2年度	50件	4.2件	32件	2.7件	24名	259名	278件	23.2件
令和3年度	52件	5.2件	14件	1.4件	15名	274名	190件	19.0件

※令和3年度について、休館の期間があるため「月平均」は10カ月で算出(1～4の全て)

# 見える化シート

基準日 令和4年3月31日現在

基本情報	
施設名称	美術館
所在地	八戸市大字番町10番地4
所管部署	美術館
設置の目的	美術品等の収集、保管及び展示並びに美術等に関する調査研究及び普及活動を行うことにより、市民の文化及び芸術の振興に資するとともに、文化芸術活動を通じた様々な出会い、学び及び交流の機会を提供し、新たな文化の創造と八戸市全体の活性化を図るための拠点として設置するもの。



管理・運営の概要																			
土地	土地面積	5,311.21 m <sup>2</sup>			所有状況	市有地													
	用途地域	商業地域																	
建物	建物名称	美術館																	
	建築年月日	令和3年1月8日																	
	延床面積	4,844.95 m <sup>2</sup>			構造	鉄骨造	階数	地上	4	地下	-								
	整備費用	2,573,006 千円			財産区分	行政財産													
	耐震診断	不要			診断結果	-													
運営	開館時間	10:00~19:00																	
	休館日	毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始																	
	開館日数(日)	R1	-	R2	-	R3	102	<div style="text-align: center;">延利用者数(人)</div> <table border="1"> <tr><th>期間</th><th>延利用者数(人)</th></tr> <tr><td>R1</td><td>-</td></tr> <tr><td>R2</td><td>-</td></tr> <tr><td>R3</td><td>24,329</td></tr> </table>				期間	延利用者数(人)	R1	-	R2	-	R3	24,329
	期間	延利用者数(人)																	
R1	-																		
R2	-																		
R3	24,329																		
運営形態	直営																		
利用	主な利用者	市民(全市的)			観光客			その他											
	延利用者数(人)	R1	-	R2	-	R3	24,329												
	1日当たり利用者数(人)	R1	-	R2	-	R3	135												

※令和3年11月3日開館

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	無	自動車	-		正職員	会計年度任用職員
利用時間	-	原付・バイク	有			
入出庫時間	-	自転車	有		13	6
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	○		○	-
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
-	-	-	-	-	-	-

施設運営費の状況							(単位:千円)
		令和元年度	地元 発注率	令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率
支出	人に係る経費	-	/	-	/	93,553	/
	企画運営費	-	-	-	-	36,877	26%
	施設の維持管理費	-	-	-	-	108,921	53%
	うち、光熱水費	-	/	-	/	27,211	/
	うち、委託料	-	-	-	-	68,091	78%
	合計	-	/	-	/	239,351	/
収入 (財源)	使用料	-		-		11,722	
	その他	-		-		8,402	
	一般財源	-		-		219,227	
	合計	-		-		239,351	
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和3年度)			
<p>1. 人に係る経費 学芸員等の専門員を配置しているほか、開館時間が長く休館日が少ない運営形態であるため割合が高くなっている。</p> <p>2. 企画運営費 年に3回程度開催する大型の展覧会開催にかかる経費及び、集客を図るための新聞・テレビ等への広告掲出に一定の経費を要している。</p> <p>3. 施設の維持管理費 収蔵品や展示品の適切な管理のため、24時間の空調運転・温湿度管理が必要となり、これに伴う光熱費及び、機器の保全を図るための委託料を要している。また、貸館受付やチケット販売等の総合案内業務、展示室の監視業務等に一定の経費を要している。</p> <p>4. その他 その他収入の主なものは国庫補助金や建物貸付収入。</p> <p>※令和3年11月オープンであることから、光熱水費及び維持管理費は通年ベースとなる令和4年度以降は増加となる見込み。</p>							

取組の状況	
設置条例	八戸市美術館条例
運営方針等	「出会いと学びのアートファーム」をビジョンに掲げ、市民の文化・芸術の振興に資するとともに、新たな文化の創造と八戸市全体の活性化を図る。
取組の内容	<p>1. 施設の特徴</p> <p>「ひと」が活動する空間を大きく確保し、「もの」や「こと」を生み出す新しいかたちの美術館として旧美術館からの建替・新築で開館し、人を育み、まちや暮らしをより豊かなものとするための展覧会やプロジェクトを展開している。</p> <p>2. 主な事業</p> <p>(1) 交流人口の拡大に向けた取組</p> <p>市民利用の促進や展覧会を開催するなどにより、中心街の賑わい創出や回遊性向上に寄与する。</p> <p>① 令和3年度入館者数</p> <p>24,329人(令和3年11月3日(水祝)～令和4年3月31日(木))</p> <p>※令和3年1月26日(水)～3月21日(月)の間は、臨時休館や入場制限等あり。</p>

## 取組の状況

### ② 展覧会観覧者数

展覧会名	観覧者数	会期(日数)	備考
開館記念「ギフト、ギフト、」	13,089人	R3.11.3～R4.2.20(93日)	1/26～2/20まで休館・入場制限あり
「持続するモノガタリ」展	439人	R4.3.19～R4.3.31(11日)	会期はR4.6.6まで
舟越保武展	740人	R4.3.19～R4.3.31(11日)	観覧無料、会期はR4.6.20まで

### (2) 関係人口の拡大に向けた取組

美術館の特徴的な空間である「ジャイアントルーム」を拠点に、アーティストや市民等と一緒に交流しながら共同創作活動を行い、地域活動により深く関わる人を育む。

### ① 主なプロジェクト参加者数

#### ア. アートファーマープロジェクト

プロジェクト名	参加者数	開催日(開催期間)
向井山朋子パフォーマンス「gift」	・ワークショップ参加者数 14人 ・公演参加者数 98人	(ワークショップ)R3.10.2～11.13 (公演)R3.11.14
八戸市美術館建築ツアーガイド	・講座参加者数 10人 ・ガイドツアー参加者数 147人	(講座)R3.10.10～11.28 (ガイド)R3.12.4～12.12
かだるアート浮世絵編	・講座参加者数 各回10人	第1回:R3.12.19 第2回:R4.1.16(以降休館のため中止)

#### イ. その他プロジェクト

プロジェクト・イベント名	開催日	内容
「わたしたちの八戸アート」ワークショップ	第1回:R3.11.20 第2回:R3.12.4 第3回:R3.12.18	アート思考の第一人者である若宮和男氏(八戸市出身)と、八戸学院大学特任教授の玉樹真一郎氏を講師に迎え、自分なりにアートを捉え、楽しむ方法について考えるワークショップを開催(オンラインのみ、各回30人)
開館記念「ギフト、ギフト、」田附勝トーク&デコトラミーティング	R3.11.23	写真家の田附勝氏が撮影した八戸及び近隣地域のデコトラが集合し、田附氏とデコトラドライバーによるトークイベントとデコトラ鑑賞会を開催(参加者数 93人)
「建築にみるこれからの美術館－八戸市美術館の可能性－」トークイベント	R3.12.12	美術館建築を切り口に「これからの美術館」を考え、八戸市美術館の可能性を探るトークイベントを開催(会場参加者数 100人) ※オンライン配信あり
田村友一郎×石倉敏明アーティストトーク「予期せぬギフト」	R4.1.15	「ギフト、ギフト、」参加アーティストの田村友一郎氏と、人類学者の石倉敏明氏をゲストに迎え、出品作品《予期せぬギフト》の制作プロセスや「贈与・ギフト」に関する話を展開(参加者数 15人)

### (3) 学校の社会科見学・修学旅行の受け入れ(令和3年度実績)

開館前から学校の社会科見学や修学旅行の受け入れを行っている。美術館スタッフが館内を案内して回るだけでなく、展示室の作品の前で座って模写するなどの取組も行っている。

項目	受入校数	生徒数	備考
社会科見学	14校	460人	市内:10校 384人/市外:4校 76人
修学旅行	5校	171人	全て県内

## (4)各種メディアへの広報(令和3年度実績)

開館前から地元紙において特集記事や連載記事を掲載していただいたほか、開館直前・開館後を中心に、美術分野だけではなく、建築・観光・地域情報など、幅広い分野のメディアに取り上げていただいた。また、青森アートミュージアム5館連携協議会による広報活動や、設計者をはじめとする関係者の協力により、新建築(1月号)や美術手帖(2月号)、日曜美術館アートシーン(NHK)等、全国的なメディアでも取り上げていただいた。

区分	掲載数	備考
新聞記事	34件	地方紙・全国紙
テレビ・ラジオ	5件	日曜美術館アートシーン(NHK)など
雑誌	40件	美術手帖、新建築、BRUTUSなど
web	23件	web版美術手帖、キタコレアートなど
その他	16件	週刊じゃらんなど
合計	118件	

※美術館で把握できたもののみ集計したもの

## 3. 維持管理費と財源の見通しについて

## (1)施設維持管理について

## ①施設維持管理の状況

美術館は、地域にゆかりのある作家の美術品を中心に、約3,000点の収蔵品を保管する収蔵庫を有している。これらの収蔵品は、後世へ継承する必要がある「地域の宝」であり、適切に保管する必要があることから、収蔵庫内は作品に合わせて24時間温湿度管理を維持する必要があるほか、劣化した作品は修復する必要があるため、一定の維持管理費を要するものである。

また、他館から貴重な作品を借用して展示する場合は、展示室内の温湿度など空気環境のデータ提出を求められることから、展覧会開催の有無に関わらず、通年で一定の空気環境を保つ必要があり、ここにも一定の維持管理費を要する。

## ②維持管理費削減の取組

全館でLED照明を設置し、高効率空調設備を導入するなど美術館の躯体性能が高く、今後もさらに効率的な施設運営を図り、光熱水費の削減に努める。

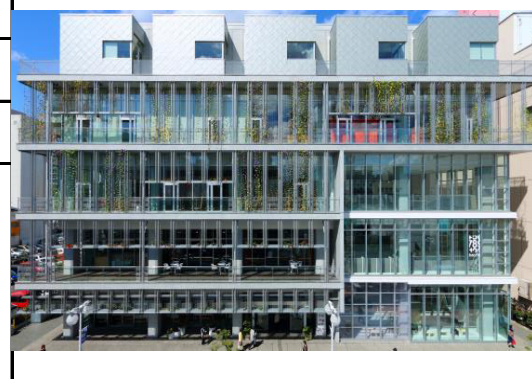
## (2)財源の見通しについて

施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として国庫補助金や建物貸付収入を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。

# 見える化シート

基準日 令和4年3月31日現在

基本情報	
施設名称	八戸ポータルミュージアム
所在地	八戸市大字三日町11-1
所管部署	八戸ポータルミュージアム
設置の目的	中心市街地に賑わいを創出し、八戸市全体の活性化を図るため、市民交流、文化創造及び観光の拠点として設置するもの。



管理・運営の概要													
土地	土地面積	3,387.62			m <sup>2</sup>	所有状況	市有地						
	用途地域	商業地域											
建物	建物名称	八戸ポータルミュージアム											
	建築年月日	平成22年11月25日											
	延床面積	6,510.34			m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート	階数	地上	5	地下	-	
	整備費用	3,328,738			千円	財産区分	行政財産						
	耐震診断	不要				診断結果	対応不要						
運営	開館時間	9:00~21:00											
	休館日	毎月第2火曜日・12/31・1/1											
	開館日数(日)	R1	350	R2	339	R3	298						
	運営形態	直営											
利用	主な来館者	市民(全市的)			観光客		その他						
	延来館者数(人)	R1	815,554	R2	552,559	R3	487,078						
	1日当たり来館者数(人)	R1	2,330	R2	1,630	R3	1,634						

※来館者数及び開館日数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

駐車場の有無						職員数(人)	
駐車場の有無	有(貸館利用者のみ)		自動車	15		正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00~21:00		原付・バイク	有			
入出庫時間	9:00~21:00		自転車	有		11	13
バリアフリーの状況						自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ		障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	-		○	○		○	-
災害指定避難							蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	1,121	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山			
○	○	○	○	○	○		



施設運営費の状況 (単位:千円)

		令和元年度	地元 発注率	令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率
支出	人に係る経費	125,935	/	128,885	/	134,063	/
	企画運営費	30,645	74%	22,996	78%	21,787	83%
	施設の維持管理費	129,452	93%	123,473	93%	127,761	92%
	うち、光熱水費	24,219	/	21,980	/	24,550	/
	うち、委託料	94,356	93%	94,625	93%	93,665	92%
	合計	286,032	/	275,354	/	283,611	/
収入 (財源)	使用料	18,732		17,027		13,984	
	その他	10,637		8,632		8,905	
	一般財源	256,663		249,695		260,722	
	合計	286,032		275,354		283,611	

施設運営費の特徴	支出経費の構成割合(令和3年度)
<p>1. 人に係る経費 年間約4,000件の施設利用の使用許可事務及び設営等利用補助に対応するための人員や企画運営のための人員を配置しているほか、開館時間が長く休館日が少ない運営形態であるため割合が高くなる。</p> <p>2. 企画運営費 運営方針(基本方針)に基づき、企画事業を実施。また、イベント等の周知のための情報発信経費も必要。</p> <p>3. 施設の維持管理費 アーティストが滞在しながら創作活動に取り組むアーティスト・イン・レジデンス事業への対応などから、有人による24時間警備を行っているほか、施設利用に関する受付案内や観光案内などのインフォメーション業務、貸館受付に必要なシステム経費などを要している。 また、清掃業務委託では、日常清掃に加え、貸館利用の都度部屋を掃除している他、昇降機設備、専門性の高いシアター設備の維持管理にも一定の経費を要している。</p> <p>4. その他 その他収入の主なものは国庫補助金や建物貸付収入。</p>	<p>維持管理費(その他) 3%</p> <p>維持管理費(委託料) 33%</p> <p>人に係る経費 47%</p> <p>維持管理費(光熱水費) 9%</p> <p>企画運営費 8%</p>

取組の状況

設置条例	八戸ポータルミュージアム条例
運営方針等	第3期八戸ポータルミュージアム中期運営方針 ー未来を創ろう 2030ー
取組の内容	

**1. 施設の特徴**  
 八戸ポータルミュージアム「はっち」は、新たな交流と創造の拠点として、賑わいの創出や観光と地域文化の振興を図ること  
 で中心市街地と八戸市全体の活性化を目指すため、2011年2月11日設置された施設である。  
 開館以来、誰でも気軽に立ち寄れる場としての「会所場づくり」、市民の創作活動をサポートする「貸館事業」、地域資源を生かした新たな価値の創造を目指す「自主事業」を施設運営の柱としており、さらに施設の中期的なビジョンや事業プランを中期運営方針として定め、各種事業を展開している。  
 現在の第3期中期運営方針は令和3年3月に策定しており、次の10年間を見据えた理想とする未来像を掲げ、中心市街地と市全体の活性化に取り組んでいる。

**【利用状況】**  
 はっち館内には、芸術活動や市民活動をサポートする各種ギャラリーやスタジオ、多様なイベントが開催可能な大小2つのシアターを備え、5階にはアーティストが滞在しながら創作活動に取り組めるレジデンス施設を有しており、展示や物販、公演、講座やワークショップ、シニアの団らん、学生の勉強など、様々な属性の個人や団体による多種多様な活動が日常的に繰り広げられている。

○施設の利用状況の推移

	累計	月平均	1日平均
令和元年度	3,663件	306件	11件
令和2年度	2,681件	224件	8件
令和3年度	2,374件	237件	8件

※令和3年度について、休館の期間があるため「月平均」は10カ月で算出  
 ※1日平均は各年度の開館日数で算出

## 2. 主な事業

### (1) まちぐみ事業

アーティスト山本耕一郎氏のプロデュースにより、市民の「やってみたい！」アイデアを“まちぐるみ”でサポートしてカタチにする市民集団「まちぐみ」。「はっちのイスに南部ひしぎし体験」や「まちぐみ大学」など、思いがけないアイデアで八戸のまちをちょっとずつ楽しくするプロジェクトを実施。

### (2) 市民作家・はっちサポーター事業

「市民作家」が手掛けた館内の観光展示や来館者の案内を行うボランティアのガイドである「はっちサポーター」など、市民が大切な担い手として活躍している。

### (3) リレーショナル・プレス「はちみつ」発行事業

はっち開館前の2010年から発行している「はちみつ」。八戸やはっちに興味を持ってもらうためのツールの一つとして、はっちのことはもちろん、中心街の様子や市内の新しい情報を発信している。中心街のほか、市内外の公共施設・道の駅等にも配布。

### (4) 放送スタジオ「びびすた♪」

BeFMの協力により、はっち1階のガラス張りの放送スタジオで公開放送しているラジオ番組の様子を直接見ながら楽しむことができる。また、番組では、はっちや中心街で開催するイベントの情報を実施者が自らラジオに出演し、宣伝・PRを行うことができる「はっちi(アイ)」のコーナーもある。

### (5) 課題解決型市民協働プロジェクト

市民の発想を生かした地域課題の解決に向けた事業提案を募集。選考により選ばれた事業について、はっちとの協働で事業を実施するとともに、事業に要する経費の支援として補助金を交付した。令和3年度は2事業を実施。

### (6) アーティスト・イン・レジデンス事業（AIR事業）

八戸の地域資源に焦点を当て、まちの新しい魅力を創り出すために、さまざまなアーティストの視点で地域の魅力を掘り起こし、市民がアートに触れ、体験する機会を増やし、新たな発見や驚き、感動を生み出すためアーティストがレジデンスに滞在して行うアートプロジェクトを実施。令和3年度は2つのアートプロジェクトを実施。

### (7) パフォーミングアーツ事業

市民へ質の高い舞台芸術の観賞機会を提供し、地域の舞台芸術・パフォーマンス活動の活性化を図るため、シアター2を活用したパフォーミングアーツ公演を実施する。令和3年度は「プロジェクト大山」によるダンス公演「すばらしきあいまいな世界」を実施。

### (8) シーズンイベント

館内の季節感を演出し、中心街の賑わいを創出するため、季節に合わせた、公演・ワークショップ・展示・館内装飾等や中心街のイベントと連携した企画等を実施。令和3年度は年間で34の企画を実施。

### (9) はちのへ演劇祭

市内外で活動している演劇団体や個人による演劇公演をはっちで開催。令和3年度は、短編4作品と超短編6作品から2作品ずつを組み合わせる上演。

### (10) ストリート投げ銭ライブ

音楽演奏やダンスなどのパフォーマンス活動を行っている市民に発表の機会を提供するとともに、パフォーマンス鑑賞の機会と賑わいを創出するため、パフォーマンス公演を月2回程度開催。令和3年度は年間で19公演開催。

### (11) はっちがずっぱど南部弁

南部弁の魅力を再発見し、後世に残すための取組として、南部弁による聞き比べやトークショーなどを2日間にわたって実施。

### (12) 暮らし学アカデミー

暮らしに身近な事について学び、その体験や学びを通して新たな価値観を発見することで、暮らしをより生き生きと豊かにすることを目的とし、八戸での暮らしを楽しむことにつながる多種多様な講座やワークショップを定期的に開催。令和3年度は9講座を開催。

### (13) はちのへ手しごと展

八戸に受け継がれる伝統工芸について、改めてその全容を把握し、つくり手たちの技と創作活動を紹介する展覧会を実施。地域の伝統工芸への関心を喚起するとともに、県内外にも八戸ならではの文化を紹介できる機会となった。

### (14) お祭り連携事業

八戸を代表するお祭りである「八戸三社大祭」と「えんぶり」について、お祭り期間に合わせ、市民や観光客に祭りの魅力を多面的に発信し、はっちならではの祭りの楽しみ方を提供する展示や体験等の企画を実施。令和3年度はどちらの祭りも中止となったが、祭りの雰囲気を感じることができる山車飾りを使った展示やお祭り関連イラストの展示等を行った。

## (15)ライブラリ事業

本に親しみ、本を通じた文化振興、市民活動の活性化を図るため、アートや文化、ものづくり、当市にゆかりのある方の書籍等を中心に配架したライブラリを設置し、来館者の利用に供しているほか、関連イベントも実施している。

## (16)ものづくりスタジオ支援事業

ものづくりの振興を通して、中心街の新たな魅力スポットと賑わいを創出すること及び入居者が起業するためのノウハウ等を備えるための支援として、入居型の工房兼ショップである「ものづくりスタジオ」を館内に設置するとともに、入居者対象の勉強会等を年1回程度実施している。

## 3. 維持管理費と財源の見通しについて(はっち・マチニワ)

○過去3年度における施設運営費の平均

(単位：千円)

		はっち	マチニワ	合計
支出	人に係る経費	129,628	—	129,628
	企画運営費	25,143	5,440	30,583
	施設の維持管理費	126,895	43,534	170,429
	うち、光熱水費	23,583	3,688	27,271
	うち、委託料	94,215	38,829	133,044
	合計	281,666	48,974	330,640
収入 (財源)	使用料	16,581	1,446	18,027
	その他	9,391	33	9,424
	一般財源	255,694	47,495	303,189
	合計	281,666	48,974	330,640

## (1)施設維持管理について

## ①施設維持管理の状況

はっち・マチニワは、市内各所から公共交通がアクセスし、ホテルが集積する中心市街地にあり、多くの市民や観光客が訪れる施設であるため、施設利用に関する受付案内や観光案内などのインフォメーション業務、貸館受付に必要なシステム経費などの維持管理費を要している。また、館内利用者の利便性向上のための昇降機設備、舞台芸術鑑賞などに用いられるシアター設備など、専門性の高い設備も数多く整備しているため一定の維持管理費を要している。

その他にも、地震に強い免震構造を備えた施設で、中心街における防災拠点施設の一つとしての役割も担っていることから、利用者の安全性確保のための維持補修にも努めている。

## ②維持管理費削減の取組

はっちでは省エネルギーを考慮した蓄熱式空調システムを導入しており、効率的な空調管理を行うことで、光熱水費の縮減に努めている。

また、マチニワと一体で維持管理を行うほか、維持管理委託の仕様を見直すことで経費の削減を図っている。今後も引き続き、効果的かつ効率的な施設運営に努めていく。

## (2)財源の見通しについて

施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として国庫補助金や建物貸付収入を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。

# 見える化シート

基準日 令和4年3月31日現在

基本情報	
施設名称	八戸まちなか広場
所在地	八戸市大字三日町21-1
所管部署	八戸ポータルミュージアム
設置の目的	街なかの「庭」のような役割を担うことを目的とし、地区全体の魅力向上、にぎわいの創出、回遊性の向上、周囲への効果の波及等を促す拠点として設置するもの。



管理・運営の概要									
土地	土地面積	1,090.98 m <sup>2</sup>			所有状況	市有地			
	用途地域	商業地域							
建物	建物名称	八戸まちなか広場							
	建築年月日	平成30年6月29日							
	延床面積	1,249.85 m <sup>2</sup>			構造	鉄骨造	階数	地上 2	地下 1
	整備費用	1,652,594 千円			財産区分	行政財産			
	耐震診断	不要			診断結果	-			
運営	開館時間	6:00~23:00							
	休館日	なし							
	開館日数(日)	R1	364	R2	351	R3	309		
	運営形態	直営							
利用	主な来館者	市民(全市的)		観光客		その他			
	延来館者数(人)	R1	585,964	R2	225,223	R3	90,370		
	1日当たり来館者数(人)	R1	1,610	R2	642	R3	292		

※来館者数及び開館日数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

※来館者数は、Wi-fi機能があるスマホを保有した人が5分以上6時間未満の滞在した人数をスマートフォン保有率で除して求めた推計値。

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	無	自動車	-		正職員	会計年度任用職員
利用時間	-	原付・バイク	-			
入出庫時間	-	自転車	-		-	-
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
-	-	○	○		-	-
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
-	-	-	-	-	-	-


施設運営費の状況		(単位:千円)					
		令和元年度	地元 発注率	令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率
支出	人に係る経費	-	/	-	/	-	/
	企画運営費	7,651	67%	5,195	90%	3,474	85%
	施設の維持管理費	45,133	88%	45,057	88%	40,413	94%
	うち、光熱水費	3,873	/	3,691	/	3,500	/
	うち、委託料	40,258	88%	40,300	88%	35,930	95%
	合計	52,784	/	50,252	/	43,887	/
収入 (財源)	使用料	2,215		1,334		788	
	その他	100		-		-	
	一般財源	50,469		48,918		43,099	
	合計	52,784		50,252		43,887	
施設運営費の特徴						支出経費の構成割合(令和3年度)	
<p>1.人に係る経費 八戸ポータルミュージアムの職員が兼務している。</p> <p>2.企画運営費 運営方針(基本方針)に基づき、企画事業を実施。 また、イベント等の周知のための情報発信経費も必要。</p> <p>3.施設の維持管理費 ・開館時間が6時から23時と長く、開館日数が多いため、日常清掃の作業日数が多くなっており、また、定期的にシンボルオブジェ「水の樹」や全面のガラス清掃が必要となっている。 ・大型ビジョンや大型スライドガラスといった専門性の高い設備の維持管理に一定の経費を要している。</p>						<p>維持管理費(委託料) 82%</p> <p>維持管理費(光熱水費) 8%</p> <p>維持管理費(その他) 2%</p> <p>企画運営費 8%</p>	

取組の状況	
設置条例	八戸まちなか広場条例
運営方針等	第3期八戸ポータルミュージアム中期運営方針 ―未来を創ろう 2030―
取組の内容	<p>1. 施設の特徴 まちなかの「庭」をコンセプトにした「光・緑・水・風」の自然を感じられる空間として2018年に整備。地区全体の魅力向上、にぎわいの創出、回遊性の向上、周囲への波及効果を促すことを目的としており、日常的な居場所として、また、イベント開催時には「ハレ」の場として、自由な雰囲気をつまやかに提供している。</p> <p>2. 主な事業</p> <p>(1)眠っているこいのぼりに光を！ 市民からの寄付で集まったこいのぼりをマチニワへ展示。</p> <p>(2)ダンボール迷路&amp;積み木であそぼ！ ダンボール迷路と積み木3,000ピース、人工芝生を設置し、誰でも気軽に立ち寄り遊べる空間として実施。</p> <p>(3)マチニワ アンブレラスカイ 梅雨の時期を楽しく過ごしてもらえるよう、カラフルな傘120本をマチニワの天井に展示。</p> <p>(4)マチニワ大道芸フェスティバル2021 全国で活躍する大道芸パフォーマーの技を鑑賞できる機会として東北では数少ない大道芸フェスティバルを2日間にわたって開催。</p> <p>(5)マチニワのクリスマス2021 トナカイとソリのフォトスポット、バルーンやジョーゼットなどでマチニワ全体をクリスマスデコレーションし、クリスマスの雰囲気を演出。</p> <p>(6)成人の記念に写真を撮ろう 成人式に合わせて、いかずきんズといのるんをモチーフとしたバルーンオブジェで新成人へのお祝いフォトスポットを設置。</p> <p>(7)マチニワピアノ 2019年より、だれでも自由に弾くことができるストリートピアノをマチニワ2階に設置。</p>

# 見える化シート

基準日 令和4年3月31日現在

基本情報	
施設名称	長根屋内スケート場
所在地	八戸市大字売市字奥遊下3
所管部署	長根屋内スケート場
設置の目的	スポーツの普及振興及び市民の健康の維持増進を図るための拠点として設置するもの。



管理・運営の概要									
土地	土地面積	62,274.83 m <sup>2</sup>			所有状況	市有地			
	用途地域	第二種中高層住居専用地域							
建物	建物名称	長根屋内スケート場							
	建築年月日	令和元年7月2日							
	延床面積	26,274.00 m <sup>2</sup>			構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	階数	地上 3	地下 1
	整備費用	12,506,593 千円			財産区分	行政財産			
	耐震診断	不要			診断結果	-			
運営	開館時間	9:00~21:00							
	休館日	毎週月曜日、12/31、1/1							
	開館日数(日)	R1	156	R2	272	R3	227		
	運営形態	直営							
利用	主な利用者	市民(全市的)		市民(地域住民)		その他			
	延利用者数(人)	R1	138,970	R2	131,001	R3	129,686		
	1日当たり利用者数(人)	R1	891	R2	482	R3	571		

延利用者数(人)

区分	延利用者数(人)
R1	138,970
R2	131,001
R3	129,686

※令和2年度以降の利用者数及び開館日数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

駐車場の有無				職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	600	正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00~21:00	原付・バイク	-	11	4
入出庫時間	6:30~21:30	自転車	-		
バリアフリーの状況				自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ	自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	○	○	-
災害指定避難					
指定緊急避難場所					蔵書数(冊)
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山	
-	-	-	-	-	-

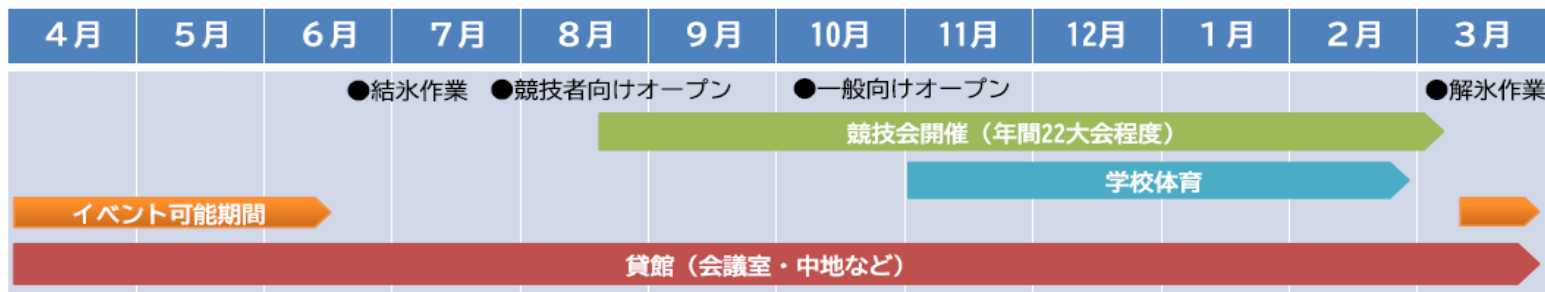
施設運営費の状況		(単位:千円)						
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			地元発注率		地元発注率		地元発注率	
支出	人に係る経費	55,721		77,662		76,676		
	企画運営費	118,952	3%	3,965	99%	2,046	90%	
	施設の維持管理費		214,662	54%	277,985	58%	289,752	57%
		うち、光熱水費	152,775		166,402		180,485	
		うち、委託料	59,240	100%	99,768	100%	99,975	100%
	合計	389,335		359,612		368,474		
収入(財源)	使用料	23,752		16,835		19,660		
	その他	40,953		49,429		53,139		
	一般財源	324,630		293,348		295,675		
	合計	389,335		359,612		368,474		
施設運営費の特徴		<p>1. 人に係る経費 ・開館時間が9時から21時までと他施設と比較し、開館時間が長いほか休館日が少ないことから、職員の勤務をシフト制とし、施設運営に必要な職員を配置している。</p> <p>2. 企画運営費 ・中地(人工芝・多目的コート)のほか、会議室の貸出しなど、貸館業務を主として施設運営を行っている。 ・企画運営費は、スケート競技会の運営経費に対する補助や、国内最高記録等を記録した選手への報奨金など。</p> <p>3. 施設の維持管理費 ・リンク良質な氷を維持するためには、リンク面の温度及び空調による温湿度の24時間管理が必要であることから光熱費が多くなっている。</p> <p>4. その他 ・主な収入は施設使用料収入のほか、施設命名権(ネーミングライツ)収入、屋内広告看板掲載料収入など。</p>				支出経費の構成割合(令和3年度)		

取組の状況	
設置条例	八戸市屋内スケートリンク条例
運営方針等	スケートスポーツの振興と興行開催を両立させるバランスの取れた運営を目指す
取組の内容	<p>「氷都」を標榜する当市は古くからスケートが盛んな地域であり、多くの市民が屋外スケート場でスケートに親しんできたところですが、施設の老朽化が著しいことから、青森県に対し平成9年度より県立屋内スケート場の整備を要望、平成25年の建設に係る合意を得て、令和元年6月に市立の施設として完成、同年9月より供用を開始しました。中心市街地に立地する好条件を活かし、多目的な利用を通じた交流人口の拡大や中心市街地の賑わい創出を目指しています。</p> <p><b>1. 施設の特徴</b></p> <p>(1) 国内3か所目のスピードスケート競技の国際大会開催が可能な屋内スケート場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界水準の氷質(最新の液化CO2冷媒による均質な氷)</li> <li>・空調環境(屋根からの輻射熱の遮断)</li> <li>・照明環境(全館LED照明による省エネルギー化)</li> </ul> <p>(2) 施設の多目的利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中地 バasketボールやバレーボールができる「多目的コート」フットサルができる「人工芝コート」</li> <li>・アリーナ 大規模イベント時には、1階アリーナに6,000人、2階スタンドに3,000人の計9,000人を収容可能</li> <li>・会議室 大小様々な大きさの会議室を貸出し</li> <li>・ホワイエ、交流サロン どなたでも無料で使用が可能</li> </ul>
	<p>スケートリンクでは一般滑走、中地では球技が行われるなど、多目的な活用が可能</p>

(3) 利用者数

	令和元年度	2年度	3年度
スケートリンク	41,076人	34,042人	32,595人
中地（多目的・人工芝）	5,287人	15,931人	18,935人
会議室	3,343人	10,132人	11,714人
トレーニング室	806人	3,708人	3,492人
その他（観覧者等）	88,458人	67,188人	62,950人
計	138,970人	131,001人	129,686人
1日当たり	891人	482人	571人

(4) 年間スケジュール



(5) 災害時における地域防災拠点施設、広域的な防災拠点

- ・一時的な避難者の受入れ
- ・消防や警察、自衛隊などの防災関係機関の活動拠点
- ・救援物資の集配拠点
- ・防災備蓄倉庫



災害時には地域防災拠点施設として活用

2. 主な事業

(1) イベント誘致事業

スケートリンク解氷期（3月中旬～6月中旬）において、コンサートなどのライブエンターテインメント、展示商談会及びコンベンション会場としての利活用を図ります。

（取組内容）

- ・イベント誘致連絡会議の設置、運営
- ・コンサートプロモーターを訪問し施設PR活動
- ・イベント企画会社等を招いて施設見学会の開催
- ・施設イメージアップ動画、施設紹介動画の作成、市ホームページでの配信
- ・施設案内パンフレットの作成、配付
- ・教育旅行関係者を招いて施設見学会を開催



令和元年8月24日開催 竣工記念音楽フェス「WORLD HAPPINESS 2019 in HACHINOHE」

(2) 国際大会誘致事業

（公財）日本スケート連盟、青森県スケート連盟等と連携し、国際大会誘致を進めています。

（開催が内定している国際大会）

- ・2024 ジュニアワールドカップスピードスケート競技会（令和6年2月3日～4日）
- ・2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会（令和6年2月9日～11日）

（開催中止となった国際大会）

- ・2021 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会（令和3年2月19日～21日）  
※新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による

(3) スピードスケート合宿誘致事業

「八戸市スポーツ推進計画」に基づき、スピードスケート合宿誘致を進めています。

（取組内容）

- ・スピードスケート競技部を置く企業、大学及び高等学校のほか、各都道府県のスケート連盟へ合宿案内の送付
- ・市ホームページにおいて合宿情報の提供
- ・より利用しやすい滑走時間やトレーニング時間の設定、自転車練習モデルコースの提案

（合宿者数）

	令和元年度	2年度	3年度
年間合宿者数	—	7,569人	12,068人
うち夏季合宿者数（7月下旬～9月）	—	2,526人	5,806人



令和元年10月25日～27日開催 全日本スピードスケート距離別選手権大会



(4) 経済波及効果

各種イベント及びスピードスケート合宿の受入りに係る効果を測定するため、青森県作成の「産業連関表による波及分析シート」を用いて、経済波及効果を算出しています。

(経済効果)

	入場者数	令和元年度	2年度	3年度
長根屋内スケート場竣工記念音楽フェス	10,000人	約11.0億円	-	-
長根屋内スケート場オープニングイベント	3,000人			
全日本スピードスケート距離別選手権大会	10,000人			
第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会	17,000人			
お笑い芸人EXIT 地域活性化ライブ	(主催者非公表)	-		約0.2億円
スピードスケート合宿	-	-	約1.1億円	約1.5億円

3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均 (単位：千円)

支出	人に係る経費	70,020
	企画運営費	41,654
	施設の維持管理費	260,800
	うち、光熱水費	166,554
	うち、委託料	86,328
	合計	372,474
収入(財源)	使用料	20,082
	その他	47,841
	一般財源	304,551
	合計	372,474

(1)維持管理費について

① 施設維持管理の状況

7月下旬から3月上旬までのスピードスケートシーズン中、良質な氷の状態を維持するためには、リンク面の温度管理のほか空調管理を24時間行う必要があるため、一定の維持管理費を要するものです。

② 維持管理費削減の取組

施設を維持するために要する経費を抑えるため、全館LED照明を導入し消費電力の低減を図っているほか、施設運営に支障のない範囲において冷凍機や空調機の運転調整、更には館内や駐車場照明の間引き点灯等を行うなど、効果的かつ効率的な運用に取り組んでいますが、今後も工夫を重ねて経費の節減に努めていきます。

(2)財源の見通しについて

① 収入の状況

施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として施設命名権（ネーミングライツ）収入、屋内広告看板掲載料収入を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。

② 収入増に向けた取組

ア ネーミングライツの導入

ネーミングライツ（施設命名権）を活用し、施設の良い維持管理を図るとともに自主財源を確保しようとするものです。

- ・契約相手 株式会社吉田産業
- ・契約期間 平成30年10月1日～令和5年9月30日（5年間）
- ・契約金額 年間22,000,000円（税込）

イ 屋内広告看板の導入


アリーナ内に民間企業等の看板広告（有料）を掲出することで、施設の良い維持管理を図るとともに自主財源を確保しようとするものです。

年間1,100,000円（税込）3社	年間550,000円（税込）4社
プライフーズ株式会社	清水建設株式会社
エプソンアトミックス株式会社	YKK AP株式会社
デーリー東北新聞社	三浦建設工業株式会社
	青い森信用金庫

## 見える化シート

基準日 令和4年3月31日現在

## 基本情報

施設名称	八戸市総合保健センター	
所在地	八戸市田向三丁目6番1号	
所管部署	保健総務課	
設置の目的	保健、医療、福祉及び教育に関する市民の自主的な活動の場を提供することにより、市民が生涯を通じて心身ともに健康で、生きがいを持って生活を営むことができる地域社会を形成するための拠点として設置するもの。	

## 管理・運営の概要

土地	土地面積	26,128.36	m <sup>2</sup>	所有状況	市有地					
	用途地域	第一種住居地域								
建物	建物名称	八戸市総合保健センター								
	建築年月日	令和2年4月30日								
	延床面積	11,093.03	m <sup>2</sup>	構造	鉄骨造	階数	地上	4	地下	—
	整備費用	6,803,599	千円	財産区分	行政財産					
	耐震診断	不要		診断結果	—					
運営	開館時間	8:15~17:00								
	休館日	土日祝及び年末年始(12/29~1/3)								
	開館日数(日)	R1	—	R2	298	R3	359			
	運営形態	直営								
利用	主な利用者	市民(全市的)			職員		その他			
	延利用者数(人)	R1	利用者数の把握ができないため、						—	
	1日当たり利用者数(人)	R1	空欄としています。						—	

※令和2年6月オープン

駐車場の有無				職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	193	正職員	会計年度任用職員
利用時間	7:00~24:00	原付・バイク	有	125	98
入出庫時間	7:00~24:00	自転車	有		
バリアフリーの状況				自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ	自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	—	○	○	○	太陽光発電
災害指定避難					
指定緊急避難場所					蔵書数(冊)
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山	
—	—	—	—	—	—

施設運営費の状況							(単位:千円)	
		令和元年度	地元 発注率	令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率	
支出	人に係る経費	-	/	-	/	-	/	
	企画運営費	-	-	-	-	-	-	
	施設の維持管理費	-	-	130,103	100%	159,790	100%	
	うち、光熱水費	-	/	17,473	/	27,294	/	
	うち、委託料	-	-	71,911	100%	88,353	100%	
合計		-	/	130,103	/	159,790	/	
収入 (財源)	使用料	-		1,763		1,996		
	その他	-		8,793		9,584		
	一般財源	-		119,547		148,210		
	合計	-		130,103		159,790		
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和3年度)				
<p>1.施設の維持管理費(光熱水費・委託料) 一般的な施設維持管理委託料(清掃、警備等)及び休日夜間急病診療所指定管理料、館内で使用する光熱水費(貸館時含む)などに一定の経費を要している。 ※貸館は9時から22時、年間で貸館を行わない日は年末年始の6日間のみで、市公共施設の中では日単位及び年単位で貸館時間最長の施設です。 (現在は新型コロナウイルス対応のため、貸館を中止しています)</p> <p>2.施設の維持管理費(その他) 施設の修繕料、通信運搬費及び物品購入費等に一定の経費を要している。</p> <p>3.収入 その他収入の主なものは、建物貸付収入(事務室、自動販売機等)、土地使用料(駐車場賃貸料、土地賃貸料)等</p>				<p>維持管理費(光熱水費) 17%</p> <p>維持管理費(委託料) 55%</p> <p>維持管理費(その他) 28%</p>				


取組の状況																									
設置条例	八戸市総合保健センター条例																								
運営方針等	保健、医療、福祉及び教育に関する市民の自主的な活動の場を提供することにより、市民が生涯を通じて心身ともに健康で、生きがいを持って生活を営むことができる地域社会の形成に資するよう、適切な維持管理を行う。																								
取組の内容	<p>1.維持管理費と財源の見通しについて</p> <p>○過去2年度における施設運営費の平均 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支出</th> <th>施設の維持管理費</th> <th>144,947</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>    うち、光熱水費</td> <td>22,384</td> </tr> <tr> <td></td> <td>    うち、委託料</td> <td>80,132</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>144,947</td> </tr> <tr> <th>収入(財源)</th> <th>使用料</th> <th>1,880</th> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>9,189</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>133,878</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>144,947</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)維持管理費について</p> <p>①施設維持管理の状況 新型コロナウイルス感染症への対応で業務がひっ迫する中、施設性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保のため、必要最低限の維持管理費で運営している。</p> <p>②維持管理費削減の取組 維持管理費削減に取り組むとともに、安全の確保、業務継続の可否、管理運営の効率化、施設の長寿命化、ユニバーサルデザイン化並びに省エネルギー化などの社会的要求水準の確保に努める。</p> <p>(2)財源の見通しについて 施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として建物貸付収入、土地使用料を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。</p>	支出	施設の維持管理費	144,947		うち、光熱水費	22,384		うち、委託料	80,132		合計	144,947	収入(財源)	使用料	1,880		その他	9,189		一般財源	133,878		合計	144,947
支出	施設の維持管理費	144,947																							
	うち、光熱水費	22,384																							
	うち、委託料	80,132																							
	合計	144,947																							
収入(財源)	使用料	1,880																							
	その他	9,189																							
	一般財源	133,878																							
	合計	144,947																							

## 見える化シート

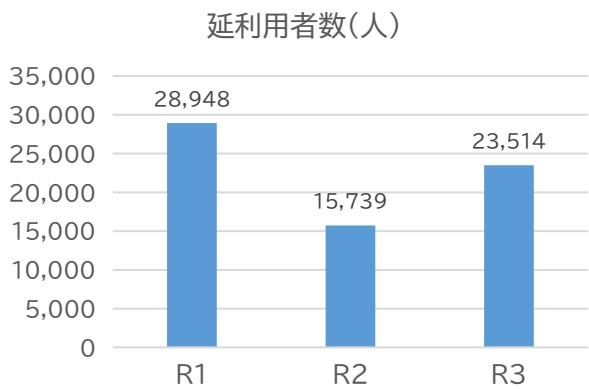
基準日

令和4年3月31日現在

## 基本情報

施設名称	埋蔵文化財センター是川縄文館	
所在地	八戸市大字是川字横山1	
所管部署	是川縄文館	
設置の目的	埋蔵文化財の調査、研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与するための拠点として設置するもの。	

## 管理・運営の概要

土地	土地面積	13,752.55	m <sup>2</sup>	所有状況	市有地							
	用途地域	市街化調整区域										
建物	建物名称	埋蔵文化財センター是川縄文館										
	建築年月日	平成22年3月25日										
	延床面積	4,715.53	m <sup>2</sup>	構造	鉄骨鉄筋コンクリート	階数	地上	2	地下	—		
	整備費用	2,242,439	千円	財産区分	行政財産							
	耐震診断	不要			診断結果	—						
運営	開館時間	9:00~17:00										
	休館日	月曜日(祝日等の場合はその翌日)、年末年始										
	開館日数(日)	R1	315	R2	315	R3	222					
	運営形態	直営										
主な利用者	市民(全市的)			観光客			—					
延利用者数(人)	R1	28,948	R2	15,739	R3	23,514						
利用	1日当たり利用者数(人)	R1	92	R2	50	R3	106					

※利用者数及び開館日数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	95		正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00~17:00	原付・バイク	—			
入出庫時間	9:00~17:00	自転車	有		16	7
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	○		—	—
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
—	—	—	—	—		

施設運営費の状況							(単位:千円)
		令和元年度	地元 発注率	令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率
支出	人に係る経費	107,625		119,106		123,628	
	企画運営費	29,430	85%	19,873	96%	27,925	80%
	施設の維持管理費	82,504	95%	82,913	96%	84,819	96%
	うち、光熱水費	15,884		15,051		16,301	
	うち、委託料	54,246	100%	53,004	100%	51,854	100%
	合計	219,559		221,892		236,372	
収入 (財源)	使用料	3,901		1,842		3,051	
	その他	4,381		2,740		4,621	
	一般財源	211,277		217,310		228,700	
	合計	219,559		221,892		236,372	
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和3年度)			
<p>1.人に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画事業の実施や史跡整備・世界遺産の保全活用、施設管理に当たる職員のほか、埋蔵文化財の発掘調査を行う職員の配置に要する経費である。</li> </ul> <p>2.企画運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展示のほか各種講座の開催、体験学習の実施などの教育普及や、世界遺産登録PR等、是川遺跡の価値を発信するための経費である。</li> </ul> <p>3.施設の維持管理費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費の大部分は、収蔵する文化財を適切な環境で保存管理するために必要な空調設備の運用に係る電気使用料である。</li> <li>委託料は、設備の保守点検や植栽の手入れ等の施設管理業務のほか、受付や有人警備、展示物の解説等の業務に係る経費である。</li> </ul> <p>4.その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>その他収入の主なものは図録等の書籍やオリジナルグッズの売上収入、建物貸付収入である。</li> </ul>				<p>維持管理費(その他) 7%</p> <p>維持管理費(委託料) 22%</p> <p>人に係る経費 52%</p> <p>維持管理費(光熱水費) 7%</p> <p>企画運営費 12%</p>			

取組の状況																					
設置条例	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例																				
運営方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>是川遺跡や風張1遺跡などを通して、東北地方の優れた縄文文化を発信する。</li> <li>市内の埋蔵文化財の調査・研究及び出土文化財の整理・収蔵を行うとともに、調査記録等の積極的な公開活用と適切な保存管理を図る。</li> </ul>																				
取組の内容	<p><b>1. 施設の特徴</b></p> <p>開館から10年間に常設展示と企画展示や講座・体験学習などの教育普及事業等を通じて、2022年6月までに30万人の来館者があった。また、文化財保護法に基づき、開発によって失われる遺跡の発掘調査や報告書刊行を確実に進め、八戸の歴史を紐解く貴重な情報を蓄積することができた。調査研究では、東京大学や弘前大学との共同研究を行い、縄文時代における環境変動と人の関わりについて研究を推進し、土器の変遷と地域間交流へと研究を進展することができた。</p> <p>※令和3年度実績:是川縄文館「年報」第11号より(<a href="https://www.korekawa-jomon.jp/information_kankobutsu/">https://www.korekawa-jomon.jp/information_kankobutsu/</a>)</p> <p>※利用者数(年間利用者数 23,514人 ※感染症対策のためR3.9/1~9/30, R4.1/24~3/7は臨時休館)</p> <p><b>2. 主な事業</b></p> <p>(1)企画展示の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画展示名</th> <th>観覧者数</th> <th>会期(日数)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>是川遺跡の注口土器</td> <td>1,393</td> <td>R3.4.1~5/5(32日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>是川遺跡</td> <td>5,910</td> <td>R3.7/10~8/31(51日)</td> <td>臨時休館のため繰り上げ終了</td> </tr> <tr> <td>装い-身を飾る人びと-</td> <td>6,212</td> <td>R3.10/16~11/28(37日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>是川遺跡の鉢形土器</td> <td>1,786</td> <td>R3.12/11~R4.3/31(52日)</td> <td>1/24~3/7臨時休館</td> </tr> </tbody> </table>	企画展示名	観覧者数	会期(日数)	備考	是川遺跡の注口土器	1,393	R3.4.1~5/5(32日)		是川遺跡	5,910	R3.7/10~8/31(51日)	臨時休館のため繰り上げ終了	装い-身を飾る人びと-	6,212	R3.10/16~11/28(37日)		是川遺跡の鉢形土器	1,786	R3.12/11~R4.3/31(52日)	1/24~3/7臨時休館
企画展示名	観覧者数	会期(日数)	備考																		
是川遺跡の注口土器	1,393	R3.4.1~5/5(32日)																			
是川遺跡	5,910	R3.7/10~8/31(51日)	臨時休館のため繰り上げ終了																		
装い-身を飾る人びと-	6,212	R3.10/16~11/28(37日)																			
是川遺跡の鉢形土器	1,786	R3.12/11~R4.3/31(52日)	1/24~3/7臨時休館																		

## 取組の状況

### (2) 講座等イベントの実施

イベント名	参加者数	開催回数等	備考
考古学講座	251	5回(前期3・後期2)	うちオンライン2回、R4.3/12中止
これかわ考古学クラブ	86	6回	R4.3/13の修了式は中止
企画展示ギャラリートーク	126	15回(特別展8・企画展7)	学芸員による展示解説
企画展示考古学講座	112	2回(特別展1・企画展1)	学芸員による展示解説
サポートスタッフ研修会	223	12回(前期6・後期6)	展示解説・体験学習指導の研修会
日曜日縄文体験コーナー	551	31回	感染症対策のためメニューを限定
土曜日体験教室	44	4回	9/18,3/5は中止
学芸員等講座(館内)	284	9回	館長・学芸員等による館内講話
学芸員講座(館外)	573	9回	学芸員等による館外講話
ボランティアによる体験学習	1,365	39回対応	うち出前2, オンライン1
遺跡現地説明会	110	4回	一王寺遺跡・新田城跡・石橋遺跡(2回)
遺跡発掘体験	7	R3.8/7開催	一王寺遺跡
遺跡調査報告会	64	R3.11/13開催	館内開催
開館10周年	693	R3.7/10-11開催	館内・遺跡ツアー, 記念講演会
是川縄文まつり	-	感染症対策のため中止	例年8月開催
是川縄文の日	740	R3.11.3	遺跡ツアー, 縄文体験, クイズ, 出土品展示等
第6回是川縄文の里俳句大会	-	R3.11/28表彰式	応募数625
えんぶり鑑賞会	-	感染症対策のため中止	例年2月開催

### (3) 学校見学等の受入れ

イベント名	学校	人数	備考
見学・体験	23	3,075	市内:1,908人/市外:1,167人 ※市外は学校数不明
修学旅行	10	264	全て県内
はっふる隊	9	387	八戸圏域広域的体験学習支援事業

### (4) 常設展示の実施

- ・展示点数 550(うち国宝1・重要文化財452)
- ・展示替え(漆製品・木製品など)
- ・最新研究報告の更新(第7回:開館10周年「学芸員のおすすめ出土品」)
- ・保守点検(業務委託)

### (5) 史跡是川石器時代遺跡に関する取組

#### ① 史跡整備に関する取組

是川石器時代遺跡の発掘調査及び研究成果を基に、八戸の縄文文化の魅力を伝え、生涯学習・観光・まちづくりの拠点や憩いの場として「是川縄文の里」を整備する事業。H27に保存活用計画、H29に第1期整備基本計画を策定し、R1に第1期整備基本設計を行った。第1期整備は、縄文時代晩期の中居遺跡を対象とする。同遺跡はR3に世界遺産となった。

- ・史跡用地取得(R3年度末の進捗率:約80%)
- ・維持管理(除草・清掃等)
- ・クリーンデー(市民参加・2回開催)
- ・第1期整備工事(歴史民俗資料館地上部分の解体撤去)

②世界遺産に関する取組

- 世界遺産一覧表記載(登録)決定 R3.7/27
- 世界遺産登録PR事業
  - ・世界遺産委員会パブリックビューイング R3.7/27(館内開催)
  - ・世界遺産登録記念セレモニー R3.7/28(八戸市庁開催)
  - ・世界遺産登録記念式典 R3.11/22(文化庁主催・オンライン)
  - ・是川石器時代遺跡世界遺産登録記念式典 R3.11/29(八戸市主催)
  - ・世界遺産登録記念サイン掲出(バナーフラッグ・広告塔・看板・のぼり)
  - ・世界遺産登録PRポスター制作・配布
  - ・世界遺産是川石器時代遺跡パンフレット制作・配布
  - ・世界遺産登録PR広告・旅行誌特集記事掲載
  - ・世界遺産登録PRラッピングバス(R3.12～市営バス1台)
  - ・世界遺産登録PRオリジナルグッズ制作(ステッカー・ピンバッジ・クリアフォルダー・きんちゃく・キーホルダー)
  - ・社会科副読本「世界遺産になった是川石器時代遺跡」の制作・配布(小学校6学年全生徒に配布・PDF公開)
  - ・北海道・北東北の縄文遺跡群パネル展示
- 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存管理
  - ・経過観察の実施(年次報告書データ提出)
  - ・遺産影響評価の実施(史跡整備関係)

(6)資料の収蔵管理・保存修理など

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や写真・図面などの調査記録、関連図書の収集・収蔵・再整理・データベース化・保管を実施している。令和3年度は出土品12箱241点、図書600冊のデータ登録を実施。

①収蔵管理

名称	数	備考
国宝 青森県風張1遺跡出土 土偶	1点	
重要文化財 青森県風張1遺跡出土品	663点	附 炭化米2点
重要文化財 青森県是川遺跡出土品	963点	
八戸市内 遺跡出土遺物	3,000箱	H11年度以降の出土品、風張・是川遺跡出土品を収蔵
図書	55,346冊	

②保存修理

名称	数	備考
八戸市内遺跡出土鉄製品保存修理	5点	鉄鏃などの保存修理業務委託
是川遺跡美術工芸品保存修理事業	11点	台付土器・漆製品の保存修理業務委託

③利用状況

種別	件数	資料数	備考
画像資料貸出・利用	295	658	書籍掲載・テレビ番組利用など
JOMON ARCHIVES	94	—	縄文遺跡群共同ホームページからの利用申請
実物資料貸出	5	181	八戸市博物館・遠野市立博物館・同志社大学・八戸市美術館

(7)広報・情報発信

種別	回数等	備考
是川縄文館ホームページ更新	92	閲覧数119,799
広報はちのへ掲載	23	学遊館12回・連載6回・特集5回
新聞記事	11	特別展7回、企画展4回
新聞広告掲載	12	特別展5回、企画展7回
BeFM施設ガイド	6	隔月で出演
図録等刊行	6	埋蔵文化財ニュース、特別展図録、企画展図録、研究紀要、年報、社会科副読本

## 取組の状況

### (8)埋蔵文化財に関する取組

八戸市内491箇所の遺跡内にて、開発行為がある場合、文化財保護法に基づき、現地確認・試掘調査・工事立合を行い、遺跡が破壊される場合は発掘調査を実施し、記録保存を行っている。令和3年度は25遺跡42件13,501㎡の発掘調査を実施し、3冊の報告書を刊行した。また、埋蔵文化財ニュースを発行・配布した。

書名	備考
第179集「八戸城跡第48地点」	R4.3/15発行
第180集「八戸市内遺跡発掘調査報告書45」	R4.3/25発行
第181集「一王寺遺跡内容確認調査概要報告書」	R4.3/25発行

### (9)研究活動の実施

#### ①研究

①研究紀要第11号の刊行、②論文発表等9件、③講話等9件、④他機関への指導・協力2件

#### ②共同研究

第3期共同研究「火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明」。弘前大学大学院と共同し、土器に含まれる火山ガラスを採取・分析し、土器の製作地や土器の移動の解明を目的として実施。令和3年度は、八戸市及びおいらせ町から出土した土器19点の観察及び、13点のサンプル採取を実施したほか、研究紀要に総括論文を掲載。

### (10)連携事業の実施

事業名	備考
放送大学面接授業	R3.11/27-28 是川遺跡・是川縄文館での授業開催
八戸圏域高等学校地域活動促進事業	千葉学園高等学校による縄文グッズ制作に協力
八戸商業高等学校3学年研究課題	謎解き縄文館イベントの開催に協力
世界遺産登録記念 縄文ドレス製作	千葉学園高等学校による縄文ドレス製作、式典ファッションショー開催
世界遺産登録記念 えんぶり披露	妻神えんぶり組(是川地区)が式典で摺りを披露
世界遺産登録PR 縄文イラスト制作	就労継続支援B型事業所ふれあいプラザあおば利用者がイラスト作成
世界遺産登録記念アマチュア無線記念局運用	R3.9/13、12/27に実施、各地と交信



## 3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均 (単位：千円)

支出	人に係る経費	116,786
	企画運営費	25,743
	施設の維持管理費	83,412
	うち、光熱水費	15,745
	うち、委託料	53,035
	合計	225,941
収入 (財源)	使用料	2,931
	その他	3,914
	一般財源	219,096
	合計	225,941

## (1) 施設維持管理について

## ① 施設維持管理の状況

是川縄文館は、重要文化財等を多数収蔵しており、特に収蔵庫は空調設備を24時間稼働させ、適切に温湿度管理をしなければならず、一定の維持管理費を要する。

光熱水費の約95%を占める電気使用料の削減のためには、LED照明化や高効率の空調設備の導入などの抜本的な対策が必要である。

また、建設から10年が経過し、耐用年数を迎える設備も増えており、修繕料や更新費用は年々上昇している。

## ② 維持管理費削減の取組

収蔵品の管理や来館者の観覧環境に支障のない範囲で、空調設備の設定温度の調節や公開エリア以外の間引き照明等を実施するとともに、雨水をトイレの洗浄水として利用するなど、光熱水費の削減に努めていく。

また、設備を適切な状態で維持するとともに、コスト縮減や財政負担の平準化を図るため、令和2年度に策定した個別施設計画に基づき、設備の修繕や更新を計画的に進めていく。

## (2) 財源の見通しについて


施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として図録等の書籍やオリジナルグッズの売上収入等を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。

# 見える化シート

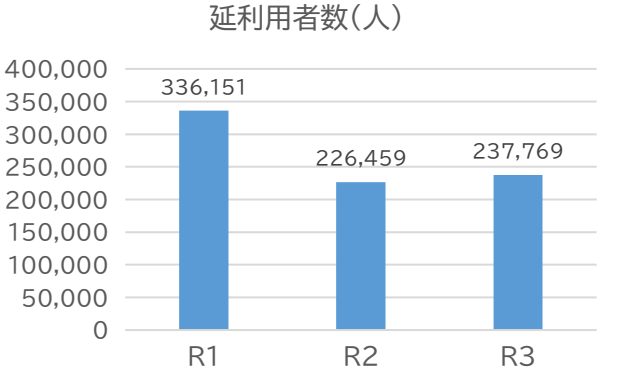
基準日

令和4年3月31日現在

## 基本情報

施設名称	図書館(本館)	
所在地	大字糠塚字下道2	
所管部署	図書館	
設置の目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理保存して一般公衆の利用に供し、市民の自己教育、調査研究、レクリエーション等に資するための拠点として設置するもの。	

## 管理・運営の概要

土地	土地面積	7,300.60	m <sup>2</sup>	所有状況	市有地					
	用途地域	近隣商業地域								
建物	建物名称	図書館(本館)								
	建築年月日	昭和58年12月9日								
	延床面積	3,663.11	m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート	階数	地上	3	地下	—
	整備費用	965,000	千円	財産区分	行政財産					
	耐震診断	不要			診断結果	—				
運営	開館時間	9:00~19:00								
	休館日	祝日の翌日、毎月月末、年末年始(12月28日~1月4日)、図書整理期間(年1回)								
	開館日数(日)	R1	323	R2	287	R3	293			
	運営形態	直営								
主な利用者	市民(全市的)			市民(地域住民)		その他				
延利用者数(人)	R1	336,151	R2	226,459	R3	237,769				
利用	1日当たり利用者数(人)	R1	1,041	R2	789	R3	811			

※利用者数及び開館日数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	105		正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00~19:00	原付・バイク	有			
入出庫時間	9:00~19:00	自転車	有		13	18
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	—		—	—
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
—	—	—	—	—		

施設運営費の状況							(単位:千円)												
		令和元年度	地元 発注率	令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率												
支出	人に係る経費	115,906		124,693		125,546													
	企画運営費	12,654	63%	9,655	59%	7,295	59%												
	施設の維持管理費	78,082	86%	81,380	86%	73,833	92%												
	うち、光熱水費	10,339		8,874		9,822													
	うち、委託料	18,861	100%	19,030	100%	19,147	100%												
	合計	206,642		215,728		206,674													
収入 (財源)	使用料	177		235		243													
	その他	7,971		7,048		6,896													
	一般財源	198,494		208,445		199,535													
	合計	206,642		215,728		206,674													
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和3年度)															
<p>1. 人に係る経費 開館時間が長く、休館日が少ない運営形態であるため割合が高くなる。</p> <p>2. 企画運営費 展示、おはなし会及び講座など様々な企画を実施しているが、職員が読み手や講師を務めることで経費が抑えられている。 (ブックスタート事業費及び図書館刊行書籍に係る経費を計上)</p> <p>3. 施設の維持管理費(その他) 図書等購入費及び図書館システム運用に当たり一定の経費を要している。</p> <p>4. その他 その他収入の主なものは、図書等購入費寄付金や書籍売上収入、複写資料代収入。</p>				<table border="1"> <caption>支出経費の構成割合(令和3年度)</caption> <thead> <tr> <th>経費種別</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人に係る経費</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(その他)</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(委託料)</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(光熱水費)</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>企画運営費</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table>				経費種別	割合	人に係る経費	60%	維持管理費(その他)	22%	維持管理費(委託料)	9%	維持管理費(光熱水費)	5%	企画運営費	4%
経費種別	割合																		
人に係る経費	60%																		
維持管理費(その他)	22%																		
維持管理費(委託料)	9%																		
維持管理費(光熱水費)	5%																		
企画運営費	4%																		

取組の状況	
設置条例	八戸市図書館条例
運営方針等	八戸市図書館の運営方針
取組の内容	<p><b>1. 施設の特徴</b></p> <p>(1)基本方針 八戸市図書館は、本館を中心として、分館・分室・移動図書館との連携を図りながら、運営することにより、「いつでも」「どこでも」「だれでも」利用できる図書館を目指します。また、市民一人ひとりが、生涯にわたって、豊かで生きがいのある生活を送ることができるよう、「読むこと」「知ること」を支援するため、図書館資料の充実を図るとともに、さまざまな図書館サービスを展開し、利用促進に努めます。</p> <p>(2)運営方針</p> <p>① 図書館資料の充実を図る ～図書館を大切な資料の宝庫にします～          ② 図書館サービスの充実向上を図る ～おもしろい・役に立つ図書館にします～          ③ 関係機関との連携強化を図る ～図書館はつながりを大切にします～</p> <p>(3)資料の貸出数・期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書資料(図書・雑誌):1人8冊15日以内</li> <li>・ 視聴覚資料(CD) :1人2点15日以内</li> </ul>

(4)蔵書数及び利用状況

	蔵書数(冊)			貸出数 (冊)	貸出者数 (人)
	図書資料	視聴覚資料	合計		
R1	451,201	4,997	456,198	668,388	172,545
R2	451,880	5,003	456,883	600,212	123,821
R3	449,556	5,105	454,661	623,447	130,669

※移動図書館及び6分室を含む

2. 主な事業

(1) テーマ展示の実施

0歳から大人までを対象にした多様な分野の図書をより探しやすいように、季節や時事など様々なテーマを設け図書の展示を実施。また、「市民大学講座」「男女共同参画基本計画」「いのち支える八戸市自殺対策計画」の事業など他部署と連携した展示も実施。

(2) ブックスタート事業の実施

ブックスタートは赤ちゃんと保護者が絵本を介して、ゆっくり心触れあうひとときを持つきっかけを作ることを目的に、先天性股関節脱臼検診の会場で検診終了後、ボランティアによる読み聞かせのほか、絵本1冊とおすすめ絵本リストや図書館の利用案内を入れたバッグを配布。生後90日から1歳未満を対象。

(3) リサイクルフェアの開催

図書館で除籍した図書や雑誌及び各家庭から受け付けた本を、リサイクルとして有効活用のため無料提供。  
(1人30冊まで)

(4) おはなし会の開催

未就学児や小学生を対象として、週2回(木・土曜日)の絵本の読み聞かせなどを開催。

(1) テーマ展示



(2) ブックスタート事業



(3) リサイクルフェア



(4) おはなし会



(5) 古文書の収集・整理・公開

八戸に関わる資料を収集し、県重宝や市文化財指定の資料など約79,000点の古文書、古記録、古写真、行政資料などの歴史資料を所蔵し、整理・保存・管理しているほか、古文書の解読を進め、重要な資料については書籍として刊行。

(6) 郷土資料の収集

- ①地方紙2紙(デーリー東北、東奥日報)の八戸市に関する記事をスクラップし内容ごとに整理。
- ②八戸にゆかりのある安藤昌益や当市出身で芥川賞作家の三浦哲郎氏のコーナーを設け、著書や資料を所蔵。

(7) 移動図書館における貸出

市内50か所を月1回巡回し貸出。

(8) 分室の設置

公民館などに6分室を設置し、週1~2回貸出。(鮫・湊・是川・館・根城・上長)

## 3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均 (単位：千円)

支出	人に係る経費	122,048
	企画運営費	9,868
	施設の維持管理費	77,765
	うち、光熱水費	9,678
	うち、委託料	19,013
	合計	209,681
収入 (財源)	使用料	218
	その他	7,305
	一般財源	202,158
	合計	209,681

## (1) 施設維持管理について

## ① 施設維持管理の状況

昭和59年の開館から39年が経過し、施設、設備や機器類の老朽化が進んでいることから、長寿命化を図り、館内の環境整備のため、設備更新等が必要となっている。

また、遠山家日記(県重宝)や八戸藩日記(市文化財指定)を含む貴重な古文書など約79,000点を保管する古文書庫を有している。古文書等歴史的な資産を適切に管理し、後世へ継承するため、古文書庫内は24時間通年で一定の空気環境を保つ必要があり、一定の維持管理費を要するものである。

## ② 維持管理費削減の取組

施設維持に要する経費を抑えるため、令和2年度にトイレ照明をLED化及び人感センサーに更新した。今後も館内照明のLED化や冷房設備等の更新を進め、さらに効率的な施設運営を図り、光熱水費の削減に努める。


## (2) 財源の見通しについて

施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として図書等購入費寄付金や書籍売上収入等を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。

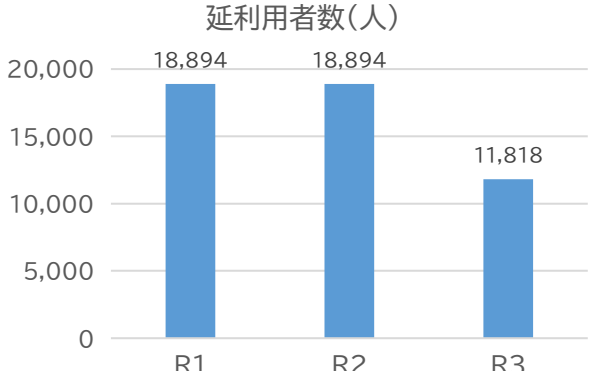
# 見える化シート

基準日 令和4年3月31日現在

## 基本情報

施設名称	博物館	
所在地	八戸市大字根城字東構35番地1	
所管部署	博物館	
設置の目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するための拠点として設置するもの。	

## 管理・運営の概要

土地	土地面積	7,725.00	m <sup>2</sup>	所有状況	市有地						
	用途地域	第一種中高層住居専用地域									
建物	建物名称	博物館									
	建築年月日	昭和57年9月30日									
	延床面積	3,767.49	m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート	階数	地上	2	地下	—	
	整備費用	1,501,252	千円	財産区分	行政財産						
	耐震診断	不要			診断結果	—					
運営	開館時間	9:00~17:00									
	休館日	毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始									
	開館日数(日)	R1	311	R2	292	R3	245				
	運営形態	直営									
利用	主な利用者	市民(全市的)			観光客		その他				
	延利用者数(人)	R1	18,894	R2	18,894	R3	11,818				
	1日当たり利用者数(人)	R1	61	R2	65	R3	48				

※利用者数及び開館日数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	23		正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00~17:00	原付・バイク	有			
入出庫時間	9:00~17:00	自転車	有		7	8
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	—		○	—
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
—	—	—	—	—		

施設運営費の状況							(単位:千円)												
		令和元年度	地元 発注率	令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率												
支出	人に係る経費	50,718	/	54,109	/	61,957	/												
	企画運営費	11,741	100%	10,389	100%	14,225	100%												
	施設の維持管理費	50,868	100%	55,740	100%	55,624	100%												
	うち、光熱水費	12,449	/	11,441	/	12,752	/												
	うち、委託料	34,963	100%	36,913	100%	36,877	100%												
	合計	113,327	/	120,238	/	131,806	/												
収入 (財源)	使用料	2,365		1,495		1,561													
	その他	1,293		1,237		2,413													
	一般財源	109,669		117,506		127,832													
	合計	113,327		120,238		131,806													
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和3年度)															
<p>1.人に係る経費 考古、歴史、民俗の各分野ごとに学芸員のほか、特別展、企画展の展示補助に従事する人員を配置している。</p> <p>2.企画運営費 特別展、企画展開催にかかる経費及び、集客を図るための新聞への広告掲載費、看板作成費等に一定の経費を要している。</p> <p>3.施設の維持管理費 収蔵品や展示品の適切な温湿度管理のため、常時空調設備を稼働させる必要があり、これに伴う電気代を要している。 また、受付業務、館内の監視業務等に一定の経費を要している。</p> <p>4.その他 その他収入の主なものは建物貸付収入や基金繰入金。</p>				<table border="1"> <caption>支出経費の構成割合(令和3年度)</caption> <thead> <tr> <th>経費種別</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人に係る経費</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(委託料)</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(光熱水費)</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>企画運営費</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(その他)</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>				経費種別	割合	人に係る経費	46%	維持管理費(委託料)	28%	維持管理費(光熱水費)	10%	企画運営費	11%	維持管理費(その他)	5%
経費種別	割合																		
人に係る経費	46%																		
維持管理費(委託料)	28%																		
維持管理費(光熱水費)	10%																		
企画運営費	11%																		
維持管理費(その他)	5%																		

取組の状況	
設置条例	八戸市博物館条例
運営方針等	先人の優れた文化遺産を保存して後世に引き継ぐとともに、その一部を展示公開し、八戸の風土と歴史を紹介する。
取組の内容	<p><b>1. 施設の特徴</b> 当館では、考古・歴史・民俗・無形資料の常設展示を主体としており、そのほかに特別展や企画展を開催している。また、教育普及活動として、講演会や博物館クラブなどを実施している。</p> <p><b>2. 主な事業</b></p> <p>(1) 常設展の開催 考古－縄文時代から中世までの出土品等 549点 歴史－八戸2万石の城下町としての様子等 109点 民俗－八戸の漁業・農業・信仰・芸能等 234点 無形－八戸の民謡・昔話・わらべ歌・方言、市内の各学校の校歌、八戸の観光等 153点</p> <p>(2) 特別展の開催 夏季特別展「乱世の終焉」 会期:令和3年7月10日(土)～8月29日(日) 入館者数:2,812人 秋季特別展「今般廃藩之儀」 会期:令和3年10月2日(土)～11月23日(火・祝) 入館者数:4,240人 ※併催行事としてギャラリートーク、特別展講演会等を開催</p> <p>(3) 企画展・パネル展の開催 ①企画展「新収蔵資料展」 令和2年度に新たに収蔵した資料を紹介する企画展 会期:令和3年4月24日(土)～5月23日(日) 入館者数:1,694人</p>

②ミニパネル展「八戸の防災」

防災意識の高揚を目的として、毎年、防災月間の9月にあわせて開催  
会期：令和3年9月1日(水)～9月30日(木) ※臨時休館中のため、SNSで公開

③新春ミニ企画「えと展ーとらー」

令和3年の干支である「とら」に関する資料を紹介するミニ企画展  
会期：令和3年12月4日(土)～1月10日(月・祝) 入館者数：695人

④企画展「えんぶり展」「ひな人形展」

国の重要無形民俗文化財に指定されている代表的な郷土芸能「えんぶり」の歴史や内容について紹介。  
「ひな人形展」では、八戸の商家に伝えられた享保雛、昭和期の古今雛、郷土雛を展示する。  
※臨時休館のため中止

(4) 教育普及活動の実施

①博物館クラブ

小中学生から一般を対象とした体験学習講座 計9回開催 参加者数 延べ136人

②おとなの博物館クラブ

高校生以上を対象とした本格的な体験講座 計2回開催 参加者 16人

③館外フィールドワーク「八戸城下めぐり」

中心街を歩きながら、八戸藩政時代の城下町であった名残をめぐる。計2回開催 参加者数 82人

④市民講座

共通テーマによる歴史講座 計3回開催 参加者数 77人

3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均 (単位：千円)

支出	人に係る経費	55,595
	企画運営費	12,118
	施設の維持管理費	54,077
	うち、光熱水費	12,214
	うち、委託料	36,251
合計	121,790	
収入 (財源)	使用料	1,807
	その他	1,648
	一般財源	118,336
	合計	121,790

(1)維持管理費について

①維持管理の状況について

博物館では、常設展示室に約1,000点、収蔵庫内に約74,000点もの文化財を有しており、文化財にとって最適な温湿度環境を確保するため、常時空調を稼働し、文化財の保存に努めている。

②維持管理費削減の取組

照明のこまめな消灯の徹底や、空調を行う場所や時間の制限、電気契約の見直しなどの実施により、これまで光熱水費の削減に努めていく。  
また、令和6年に実施を予定する全館LED化の準備を進め、更なる維持管理費削減に取り組む。

(2)財源の見通しについて

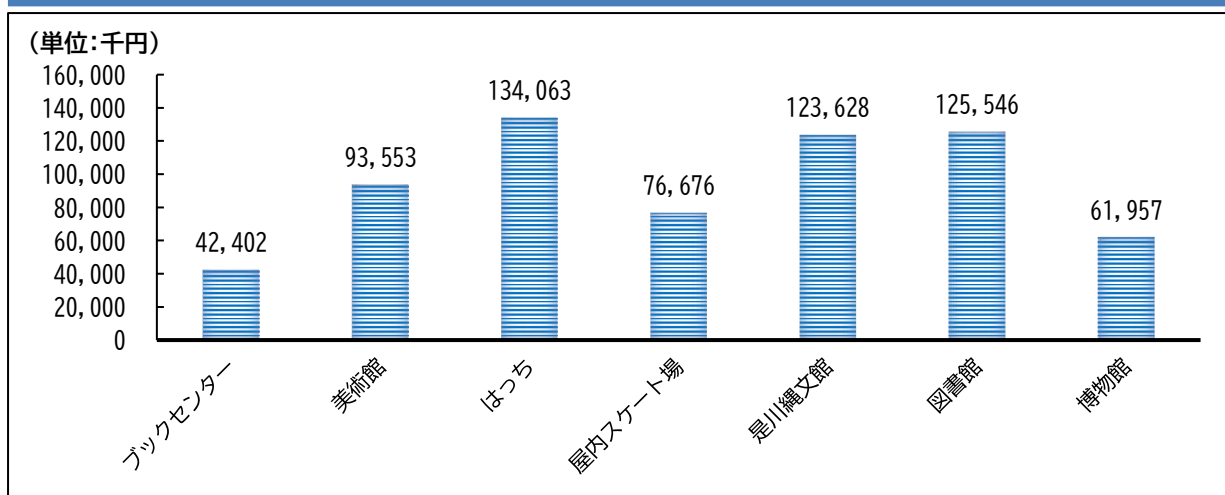
施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として建物貸付収入等を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていく。



## 【参考】令和3年度施設運営費の状況のまとめ

---

## (1)人に係る経費



## ○施設ごとの職員数

(単位:人)

	ブックセンター	美術館	はっち	屋内スケート場	是川縄文館	図書館	博物館
正職員	3	11	12	9	16	13	7
会計年度 任用職員等	4	8	12	4	7	18	8
合計	7	19	24	13	23	31	15

### ■ブックセンター

- ブックセンターでは、開館時間が 20 時（日祝は 19 時）までと長く、閉館日は週 1 回で土日祝日勤務もあることから、シフト制により、どの時間帯も常に館の運営に必要な最小限の職員が確保できる体制をとっています。

### ■美術館

- 美術館では、学芸員やテクニカル・コーディネーター等の専門スタッフを配置しているほか、開館時間が 19 時までと長く、閉館日は週 1 回で土日祝日勤務もあることから、館長以下 19 名の職員がシフト制により勤務し、どの時間帯も常に館の運営に必要な最小限の職員が確保できる体制をとっています。

### ■はっち

- はっちでは、年間約 4,000 件の施設利用の使用許可事務及び設営等利用補助に対応するための人員を配置しているほか、企画事業を実施するための職員を配置していることに加え、開館時間が 9 時から 21 時までと長く、休館日も月 1 回と少ないことから、シフト制により、どの時間帯も常に館の運営に必要な最小限の職員が確保できる体制をとっています。

### ■屋内スケート場

- 開館時間が 9 時から 21 時までと長く、休館日は週 1 回で土日祝日勤務もあることから、シフト制により、どの時間帯も常に館の運営に必要な最小限の職員が確保できる体制をとっています。

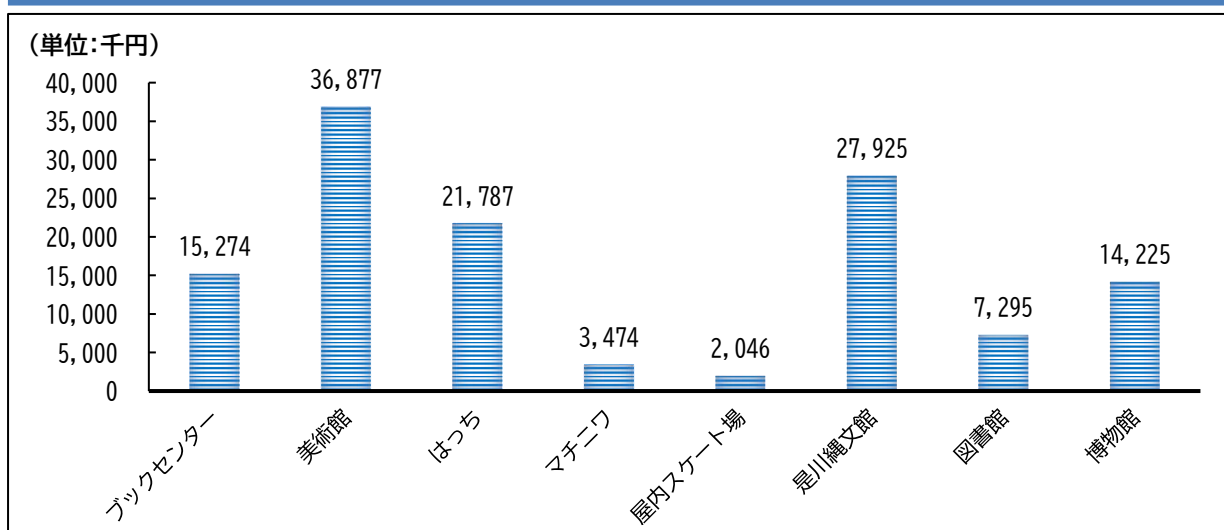
### ■是川縄文館

- 企画事業の実施や史跡整備、世界遺産の保全活用、施設管理に当たる職員のほか、埋蔵文化財の発掘調査を行う職員を配置しています。
- 休館日は週 1 回で土日祝日勤務もあることから、シフト制により、施設の運営に必要な職員が確保できる体制をとっています。

### ■図書館

- 開館時間が 9 時から 19 時までと長く、休館日が少ないことから、シフト制により、施設の運営に必要な職員が確保できる体制をとっています。

## (2)企画運営費



### ■ブックセンター

・「本を読む人を増やす 本を書く人を増やす 本で街を盛りあげる」の運営基本方針のもと、作家を招いた講演会やワークショップ、民間書店と連携したブックフェスなど様々な企画に取り組んでいます。

・上記に加え、企画運営費には書籍の仕入に係る委託料約 8,400 千円を含みます。この約 8,400 千円については、民間書店の会計処理では棚卸資産に相当し、書籍が売れたときの売上計上（※）と同時に費用となる性質のもので、書籍を返品する際には、仕入金額は市に返納されます。

※一般的に書籍の利益率はおよそ 2 割程度となっています

### ■美術館

・年に 3 回程度開催する大型の展覧会開催にかかる経費及び、集客を図るための新聞・テレビ等への広告掲出に一定の経費を要しています。

### ■はっち

・条例及び中期運営方針に基づき、様々な企画事業を実施しています。また、イベント等の周知のための情報発信経費も必要となります。

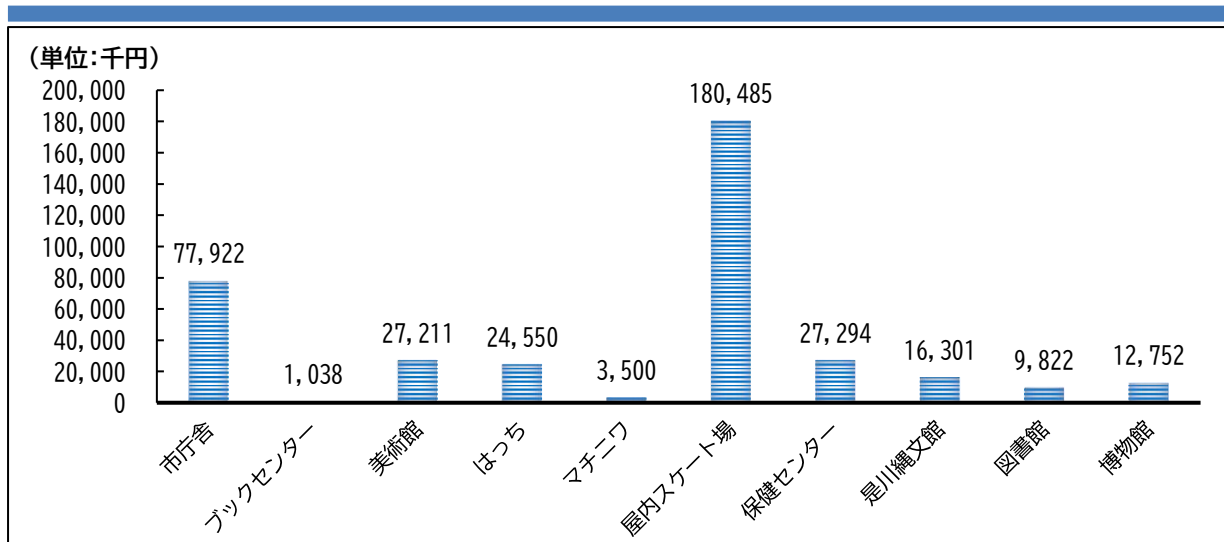
### ■屋内スケート場

・中地（人工芝・多目的コート）のほか、会議室の貸出しなど、貸館業務を主としている一方で、企画運営費についてはスケート競技会の運営経費に対する補助や、国内最高記録等を記録した選手への報奨金などの経費を計上しています。

### ■是川縄文館

・企画展示のほか各種講座の開催、体験学習の実施などの教育普及や、世界遺産登録 PR 等、是川遺跡の価値を発信するための経費を計上しています。

### (3)施設の維持管理費(光熱水費)



#### ■市庁舎

・来庁者及び勤務職員が多いことから、施設運営に当たって電気、都市ガス及び水道使用に係る経費が多くなっています。

#### ■美術館

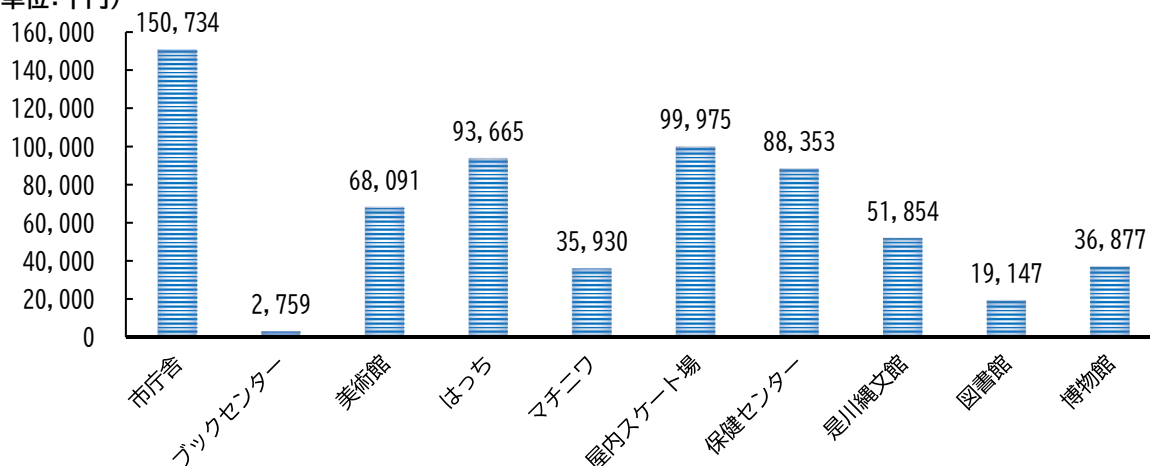
・収蔵品や展示品の適切な管理のため、収蔵庫や展示室において24時間の空調運転・温湿度管理が必要となり、これに伴う電気代を要します。なお、美術館は令和3年11月オープンであることから、通年ベースとなる令和4年度以降は増加となる見込みです。

#### ■屋内スケート場

・長根屋内スケート場では、7月下旬から3月中旬までを製氷期間とし、スケートリンクを開場、スケート競技者の合宿受入れのほか、競技会の開催、市民のスケート滑走等に供しています。製氷期間において、スケートリンクの良質な氷を維持するためには、リンク面の温度及び空調による温湿度の24時間管理が必要であるため、電気・ガスなどの光熱費が多くなっています。

#### (4)施設の維持管理費(委託料)

(単位:千円)



##### ■市庁舎

・延床面積が広いことに加えて会議室等の部屋が多いことから清掃、警備に一定の経費を要しています。

##### ■美術館

・空調機器等の保全を図るための委託料を要するほか、貸館受付やチケット販売等の総合案内業務、展示室の監視業務等に一定の経費が必要となります。なお、美術館は令和3年11月オープンであることから、光熱水費と同様に通年ベースとなる令和4年度以降は増加となる見込みです。

##### ■はっち・マチニワ

・はっちでは、マチニワを一体的に管理することにより、清掃や警備などをそれぞれで行うより効率的な業務委託が可能となっています。

・一方で、はっちでは、マチニワの朝6時と夜11時の開閉業務や、アーティストが滞在しながら創作活動に取り組むアーティスト・イン・レジデンス事業への対応などから、有人による24時間警備を行っているほか、施設利用に関する受付案内や観光案内などのインフォメーション業務、貸館受付に必要なシステム経費などが必要となります。また、清掃業務委託では、はっちの開館時間に合わせた日常清掃に加え、貸館利用の都度部屋を掃除する対応を取っています。他にもエレベーター、エスカレーターなどの昇降機設備、シアターの舞台照明、音響設備の維持管理も必要となります。

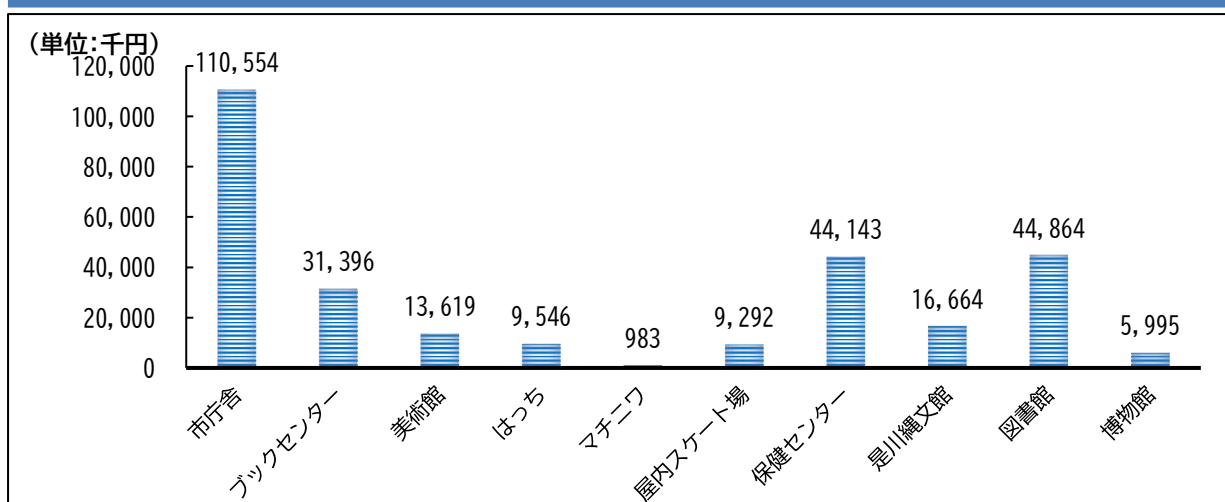
##### ■屋内スケート場

・長根屋内スケート場では、スケートリンクの結氷及び製氷作業のほか、リンクの冷凍設備や消防用設備、計装機器等の保守点検業務、市民のスケート滑走時に使用するスケート靴の貸出業務など施設特有の業務委託が必要であるほか、一般的な清掃業務など維持管理に必要な業務は多岐に渡っています。このことから施設の維持管理業務を包括的に業務委託しています。

##### ■総合保健センター

・一般的な施設維持管理委託料(清掃、警備等)及び休日夜間急病診療所指定管理料として、一定の経費を要しています。

## (5)施設の維持管理費(その他)



### ■市庁舎

・総合的な行政機関として様々な業務を行っており、多岐にわたって一定の経費を要しています。

### ■ブックセンター

・建物借上料(賃料)約15,300千円が含まれています。通常、公共施設の整備には建築工事費を要し、財源に市債等が充てられ、その償還が公債費として生じます。ブックセンターは民間の再開発ビルに賃貸で入居しているため、公債費に代わる経費として建物借上料が掛かっていると考えられます。

### ■美術館

・美術館では、施設ガイドや展覧会スケジュール等の広報物制作・配布や、事業や貸館等で必要な備品・消耗品類の購入などに一定の経費を要しています。

### ■総合保健センター

・総合的な行政機関として様々な業務を行っており、多岐にわたって一定の経費を要しています。

### ■図書館

・図書資料、視聴覚資料、新聞の購入及び図書館システムの運用に係る費用など一定の経費を要しています。



令和4年度はちのへ大型公共施設見える化シート  
(令和3年度決算分)

令和5年〇月

八戸市 総務部 行政管理課

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1

TEL:0178-43-2150

八戸市ホームページ:<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/>